

明治廿五年

(二月)

一月一日 壬辰 金曜 如洗晴朗、夜雨。五十七度。

朝四時起。挙家無恙賀正。五時、喫雑煮。生徒越年者十三人。余、拉生徒、詣氷川神社。新年発会報告書百枚、及投名刺百廿枚。

弘方摘要 金七円、北村えカス。

受方摘要 金一円。

一月二日 癸巳 土曜 朝雨止、曇。

早起如昨日。山本安治郎来、三橋久子卜結婚ノ日限十日頃卜云。即、使和田、三橋氏ニ右之儀ヲ報ス。賀客続々来。夜、煮鴨飯、挙家設宴会。頗盛。十時臥。

受方摘要 壹円。

一月三日 甲午 日曜 晴朗。

早起如昨日。松野氏、三橋氏来。午下、往九段勸業場、求福引物品、帰。夜、芳村夫婦来、行謡初。此日、角田栄子、宇都宮高子来。午後、微震。田村長子、男子**盼★**(月十免)報来。

弘方摘要 金三十銭、下駄代。

\***盼★**(月十免)(分婉)

一月四日 乙未 月曜 小雨、夜雨。 浄校院殿三十五日。

朝早起。明日発会準備ヲナス。山本氏え結婚九日吉辰之由ヲ報ス。午下、墓参ス。

一月五日 丙申 火曜 (天气) 如拭。 入寒。

早起。生徒新年会ヲ執行ス。午後一時ヨリ来集ス。祝酒畢テ、若林、勸進帳ヲ演ス。畢而福引ス。来会者九十八人也。頗盛会。四時皆去。夜、設讌会。又盛大。

一月六日 丁酉 水曜 晴又陰。

早起。余、愛治郎、泰、小木曾ト同ク、十一時四十分ノ汽車ニ乗シテ、行横浜。西村氏ヲ過テ喫昼餐。原氏ニ行、年酒ヲ済テ、訪茂木氏、又年酒。畢而原氏ニ帰、直ニ神奈川県山口市ヲ訪。九時汽車ニ乗テ帰ル。十一時也。留守中、山本鶴子来、結婚日、九日治定申来。弘方摘要 廿銭。

一月七日 戊戌 木曜 晴又陰。

早起。朝、和田氏ヲ使トシテ、山本氏、三橋氏え九日結婚治定ノ由、申遣ス。朝、三橋氏来。寄宿生、続々帰校ス。神田花薬、後藤花薫来ル。

受方摘要 金五円。

一月八日 己亥 金曜 (天氣) 如拭如洗。

早起。授業始ヲ執行ス。山本氏、祝ノ物品、松魚、七子一反ヲ贈ル。

一月九日 庚子 土曜 晴。

早起。課業如例。三橋久子来。午下、往田村氏。出生男子七夜祝日也。暫時ニシテ、詣小松宮。此日如例年、陸軍士官等打鞠競争ヲ拝觀ス。北白川宮、伏見宮、閑院宮、清州、有馬秋宮、及伊達夫人全子、閑院宮智恵子君ニモ謁ス。御広間ニテ、秋宮様ト祝酒、雜煮ヲ戴、中座シテ去。此夜、山本安治郎、三橋久子、結婚式ヲ執行ス。余モ応招。式終テ十一時帰。

受方摘要 金三円五十錢。

\*清州(清棲)

一月十日 辛丑 日曜 晴。(寒)甚。

早起。閑野知賀、原富太郎、久米民之助、節子来。久米兩人一宿ス。山本安治郎、白井藤太郎来。

原氏、白縮緬(〇)一反。

受方摘要 金十二円。

一月十一日 壬寅 月曜 晴。

早起。課業如例。久米兩人去。午下、墓參ス。此日、編物師窪谷モト始テ雇入ル。晡時、過姉家、暫時而去。揮毫ス。

受方摘要 森竹時得、金五円。北川貞子、同五円。

弘方摘要 五軒町土産、金壹円。

一月十二日 癸卯 火曜 朝ヨリ密雪紛々、忽續五部。午後、雪全霽、暖如春。晡時、天

俄生墨雨雲、已而又霽。夜、月如氷。

早起。課業如例。

\*續(續)

一月十三日 甲辰 水曜 晴。

早起。課業如例。佐藤とせ子父来。とせ子、足利荻野氏ニ嫁ス。依テ退校申来。此日、宮

城御局、紅梅典侍、新樹典侍、早蕨典侍、花松典侍、小菊典侍、藤袴掌侍、楓掌侍、紅葉掌侍、吉田掌侍え、物品を贈ル。

受方摘要 佐藤とせ子、一円。渡辺玉子、二円五十銭。丸山昌子、五円。楓内侍、一円廿五銭。

弘方摘要 藤袴様中居え三十銭。

一月十四日 乙巳 木曜 晴。

早起。課業如例。南条氏来。午下、裏松、小西、北白川宮、閑院宮、三条邸ニ詣ス。閑院宮及御息所智恵子君ニ謁ス。祝酒ヲ賜ル。種々ノ物品ヲ拝見シテ退ク。三条邸ニテ資君ニ謁シ、暫時閑話シテ帰ル。入夜、此日井上氏来、一宿ス。三橋久子母来。

閑院宮、白縮緬(〇)一疋。三橋氏、白七子(〇)一反。

弘方摘要 积尊え金一円。受方摘要、閑院宮、金二円。三橋氏、同千疋。

一月十五日 丙午 金曜 晴。

早起。課業如例。朝、墓参、积尊え参詣ス。

弘方摘要 积尊え金十銭。

一月十六日 丁未 土曜 朝曇、午下晴。

早起。課業如例。朝、山本鶴子来。午下、同桃子、詣宮城藤袴内侍、祝酒、賜佳肴。呉服所関根照子、北大路梶子、中村駒子依案内、御庭、及御奥、**皇太后宮**御座間、其皇后宮謁見所、所々拝見ス。四時半、退出ス。此日、呉服所大館町子、堀内いさ尾、入門ス。岩浪稲子来。生徒種痘ス。此日ヨリ、山中氏、小山氏、小木曾氏、家事改革ス。下男老人抱ル。山本氏ヨリ黒唐繻子帯地(〇)一卷。藤袴内侍様ヨリ縞物(〇)一反。

受方摘要 山本氏ヨリ金五円。紅梅典侍、同千疋。新樹典侍、五百疋。藤袴内侍、五百疋。撫子内侍、七百疋。花松典侍、七百疋。

\*皇太后宮(皇太后宮)

一月十七日 戊申 日曜 朝曇、午下晴。

早起。愛治郎、二番汽車ニ乗シテ**絵之島**ニ行。余、十一時四十分之汽車ニテ横浜茂木氏ニ行、絵画之稽古ス。畢而原氏ヲ訪。去テ、四時之汽車ニ乗シテ帰ル。午前三時比、地震ス。夜十時、愛治郎帰ル。夜十二時比、強震ス。

受方摘要 五十嵐駒子ヨリ金三円。

弘方摘要 汽車代、金八十銭。

\*絵之島(江之島)

一月十八日 己酉 月曜 晴朗。

早起。課業如例。浄皎院殿七七日二付、墓参ス。  
受方摘要 石井初子、金五円。石井安子、金壹円。  
弘方摘要 蒲生氏、金一円。

一月十九日 庚戌 火曜 晴朗。  
早起。課業如例。万里小路通房氏ヨリ桃子之籍送附シ来ル。

一月二十日 辛亥 水曜 晴、寒風厳。  
早起。課業如例。朝七時、岩倉邸ニ往キ梭子画教授ス。九時帰ル。江沢千勢子入門ス。

一月廿一日 壬子 木曜 晴朗。  
早起。課業如例。此日、泰児、渡辺氏ニ入塾ス。  
受方摘要 浜荻典侍より金三円。

一月廿二日 癸丑 金曜 晴朗。  
早起。課業如例。午下一時ヨリ書画会ヲ始。講堂二層楼ニ於テ揮毫場ヲ設ケ、十四席ヲ置キ、生徒不残、席上揮毫ス。畢テ其書画ヲ鬪引ス。広田千代子母、其親族、牛込幸子入学ヲ依頼シ来ル。晡時、姉邸ニ行ク。咄草湯ニ入浴ス。

\*咄草湯(甘草湯)  
一月廿三日 甲寅 土曜 晴朗。  
早起。課業如例。加茂富子来。晡時、姉邸ニ行キ入浴ス。

一月廿四日 乙卯 日曜 晴朗、夜雨。  
早起。終日揮毫ス。晡時、姉邸ニ行、入浴シテ帰。召使女花、磯、兩人暇出ス。只シ縁段ニテ願出ル。

受方摘要 早蕨典侍ヨリ金二円五十錢。  
\*只シ(但シ) \*縁段(縁談)

一月廿五日 丙辰 月曜 晴朗、夜雨。  
早起。課業如例。和田氏辞職ス。山田氏来ル。

一月廿六日 丁巳 火曜 晴、夜雨。  
早起。課業如例。加茂巖雄、欧州ニ行ク暇乞ニ来ル。広田竹子入塾ス。

一月廿七日 戊午 水曜 晴、夜雨。

早起。課業如例。橋本太吉氏、大磯ヨリ帰来ル。一宿ス。  
 弘方摘要 五軒町跡見え一円。同家婢僕え四十銭。

一月廿八日 己未 木曜

早起。課業如例。昨夜ヨリ腹痛、吐瀉ス。故ニ浅草貴婦人会不参ス。此日、同会ニテ千世  
 滝ノ為、読経執行ス。桃子代参ス。晡時、姉邸ニ至リ入浴ス。甘草湯一週間済。

弘方摘要 本願寺御経料、金五円。

\*一週間(一週間)

一月廿九日 庚申 金曜

早起。課業如例。余、病全快、姉伯え寄ス書状、加茂氏え托ス。安田富貴子入塾ス。

弘方摘要 会計え向ケ出ス、金百円。

一月三十日 辛酉 土曜 晴朗。

孝明天皇祭日。終日揮毫ス。橋本氏来。泰、始テ帰宅ス。原善三郎氏ヨリ、富太郎、安子  
 ノ披露トシテ、松魚、及鳥子餅一重、料理来。

一月三十一日 壬戌 日曜 曇天。

早起。朝十時四十分ノ汽車ニテ、横港茂木氏え行、稽古シテ、二時五十五分ノ汽ニ乗テ帰  
 ル。午前十一時過、強震ス。昨夜雪。泰児、渡辺氏え帰ル。此日、旧一月一日ニテ、愛治  
 郎誕生日。例ノ鴨飯ニテ祝宴ヲ設ク。盛大也。

弘方摘要 汽車代、四十銭。車代、十五銭。

\*汽(汽車)

一月会計

目次 受方摘要 弘方摘要

一	一円	七(円)
二	一円	
三		三十銭
四		
五		
六		二十銭
七	五円	
八		

九		三(四)五十錢	
十		十二円	
十一		十円	一円
十二			
十三		八円七十五錢	三十錢
十四		四円五十錢	一円
十五			十錢
十六		十二円七十錢	
十七		三円	八十錢
十八		六円	一円
十九			
廿			
廿一		三円	
廿二			
廿三			
廿四		二円五十錢	
廿五			
廿六			
廿七			一円四十錢
廿八			五円
廿九			百円
三十			
卅一			五十五錢
總計	七十二円九十五(錢)		
残高	六(十)六(円)三(十五錢)		百十八円六十五錢

(二月)

二月一日 癸亥 月曜 晴天。  
 早起。課業如例。牛込幸子入塾ス。午下墓参ス。夜、姉邸之行。  
 弘方摘要 中井敬所之金九円。  
 二月二日 甲子 火曜 晴朗。  
 早起。課業如例。橋本氏来。

二月三日 乙丑 水曜 晴風。  
早起。課業如例。午下、往岩倉邸、稽古シテ帰。夜七時、地震。  
受方摘要 若松典侍より二円五十銭。

二月四日 丙寅 木曜 朝ヨリ曇天、午前十時頃ヨリ雪降出し、日暮頃尤盛ニシテ六寸計積、実ニ絶景。夜ニ入テ益甚し。風吹出ス。  
早起。課業如例。橋本氏来、一宿ス。

二月五日 丁卯 金曜 晴朗。昨夜ノ雪ハ風□テ吹飛し、屋上、樹梢ハ雪なし。殺風景也。

早起。課業如例。早朝ヨリ雪カキニテ賑シク、改革員、昨夜ヨリ評議之上、朝起シテ出入方来らぬ前、雪カキ致す筈、下男と共に漸表門迄カキ出せしか、はや出入方門前不残カキ畢、又ヤハリ祝義ハ如例。早起損也。

\*雪カキ(雪掻キ) \*来らぬ(きたらぬ) \*雪カキ(雪掻キ) \*カキ出せし(掻キ出せし) \*カキ畢(掻き畢) \*祝義(祝儀)

二月六日 戊辰 土曜 晴朗。  
早起。課業半日ニシテ畢。午下、中村元嘉氏、及宗家東殿ヲ訪、正四位公績子君信楽院殿ニ対ス。帰路、小栗栖氏ヲ訪、入夜、帰。此朝、岡部清子嬢ノ縁段ニ付、岩崎久弥ノ母刀自ニ書ヲ寄ス。

\*縁段(縁談)

二月七日 己巳 日曜 晴天。

早起。訪姉氏、帰。午下、原富太郎氏来ル。又橋本氏モ来ル。暫時閑談ス。而テ愛治郎、原、橋本氏ト同ク、東台ニ遊フ。雪後寒林月色尤好。遂ニ生養軒ニテ晚餐ヲ喫シテ帰。木津跡見氏ヨリ氷豆腐、菓子、昆布着。茂木氏栄子え結婚之祝物、松魚一箱、白縮緬一疋、金地扇子五本箱入ヲ贈ル。此使者、小木曾氏也。

\*生養軒(精養軒)

二月八日 庚午 月曜 陰雨不定、遂ニ大風雨、雪尽解。  
早起。課業如例。橋本邦子書至ル。

二月九日 辛未 火曜 晴朗。  
早起。課業如例。午下、訪姉邸、帰。長谷川千賀、柴田千賀、下婢いそ、母ト御礼ニ来ル。宮城赤塚菊子入門ス。

弘方摘要 会計え六十円。

二月十日 壬申 水曜 晴朗。  
早起。如例。午下、過岩倉邸、稽古シテ、三条公邸ニ行、公美公ノ病ヲ訪。暫御病瘳ニ伺フ。已テ去。重威、京都ニ出發。大塚陽子、其母と共に來ル。一身上ノ事ニ付、依頼シ來ル。此夜ヨリ寄宿ス。

二月十一日 癸酉 木曜 陰。  
**記元節**、休日。井上市兵衛來、一宿。

弘方摘要 井上氏年玉、壹円。

\*記元節(紀元節)

二月十二日 甲戌 金曜 終日雨。  
早起。課業如例。午下、設書画會。第一會ヨリ生徒之進歩頗甚。井上氏又一宿。  
受方摘要 佐藤利尾より三円。

二月十三日 乙亥 土曜 晴朗、春三月之如し。  
早起。課業如例。午下、宗東殿ニ行。安井氏**曼陀羅縁記**ヲ解。日暮去。此日、泰児帰宅ス。  
井上氏帰港ス。濃州ヨリ守口漬着。

弘方摘要 両大師え壹円廿四錢。

\*曼陀羅縁記(曼陀羅縁起)

二月十四日 丙子 日曜 終日大雨。  
早起。終日揮毫ス。泰児、渡辺氏ニ歸去。

二月十五日 丁丑 月曜 晴、入夜大風。  
早起。課業如例。亡父忌日ニ付、墓參ス。治子來。**松の花濤**、丹羽花容來。晡時、姉邸ニ行。夜八時、帰。撰拳騷キ、市中如戰場。三条公美公ヨリ、來ル十八日故内大臣一周年祭典執行招状來。

\*松の花濤(松野花濤)

二月十六日 戊寅 火曜 晴。  
早起。課業如例。

二月十七日 己卯 水曜 晴、寒甚。  
早起。課業如例。午下、往岩倉邸、稽古シテ帰、過角田氏。此日、錦織文子來。

二月十八日 庚辰 木曜 晴、寒甚。 故三条内大臣実美公一周年祭典。  
早起。課業如例。午下、詣三条邸、拝靈前去、訪久米氏。晡時帰。夜、大雪積老尺。

二月十九日 辛巳 金曜 午下晴朗。  
早起。雪紛々、満目如銀世界。

二月二十日 壬午 土曜 晴朗。

早起。課業如例。余、訪姉邸。小西歌子来。寄書、柳川立花家、三条家、錦織氏。御所入門、伊東澄子、岡本岸枝、勢多威子、土山松子、四人也。東京立花氏、絹本四枚、及画手本三枚、画書帖物三枚ヲ寄ス。

受方摘要 潤筆料、五十錢。

弘方摘要 五軒町跡見え留守見舞、五十錢。

二月廿一日 癸未 日曜 晴。

早起。揮毫ス。来客者、佐々木祐寛、教長山田氏。

二月廿二日 甲申 月曜 晴朗。

定期大試験執行始也。午下、来客者、吉村房及菊。重威、從京都归来。晚餐後、弦歌ヲ演ス。

二月廿三日 乙酉 火曜 陰、晚雨。

早起。課業如例。来客者、前田献吉使小磯維達、三橋淳奴僕、米留也。茂木保平書至。

二月廿四日 丙戌 水曜 晴風、寒甚。 岩倉氏有約。

早起。課業如例。午下、往岩倉邸、稽古シテ帰。

二月廿五日 丁亥 木曜 陰、風強。 横浜茂木氏祝筵有約。

早起。課業如例。午下二時廿分之汽車二乗テ、横浜過西村氏、五時、同信子、応茂木氏招此会、横浜人箕田氏細君始十八人也。祝讌之盛、実善尽美尽、近来未曾有之盛会也。十二時全畢。西村ニ於テ一宿ス。

茂木氏ヨリ紅白羽二重(〇)二疋箱入。

二月廿六日 戊子 金曜 晴朗。

朝食ヲ喫シテ、同西村氏、十時二十分汽車二乗シテ帰ル。

二月廿七日 己丑 土曜 晴。  
早起。課業如例。此日ヲ以、大試験全畢。塾生帰宅ス。

二月廿八日 庚寅 日曜 貴婦人会有約。三橋氏里開祝筵有約。  
早起。揮毫ス。貴婦人会不參ス。午後五時、三橋氏二行、里開祝宴二会。夜八時全畢。

二月廿九日 辛卯 月曜  
早起。揮毫ス。午下、山本鶴、久子ヲ携テ礼ヲ申来。三条氏富子君書来、即答書ス。

二月會計

払方摘要 總計 七十一円七十錢。

受方摘要 總計 六円也。

(三月)

三月一日 壬辰 火曜 雨、午前十時頃ヨリ晴。  
早起。揮毫ス。午下、墓參ス。途路、過姉邸、晡時帰ル。福田龜子入塾ス。

三月二日 癸巳 水曜 晴朗。

早起。揮毫ス。午下、拉栄子、往岩倉邸、教授シテ帰途、過松野氏、帰。来客者、漢学教員平井參始来。松井氏、入門。田村長子、同増子、長野富貴。

大塚菊子ヨリ、結城紬(〇)一疋。

受方摘要 田村増子、千疋。

三月三日 甲午 木曜 雨。

早起。午下、三条治子君来臨。夜、雛祭宴ヲ設ク。吉村夫婦、同菊女、若林来ル。  
受方摘要 三条治子殿、一円。

三月四日 乙未 金曜 晴、暖氣。三条資君殿来臨有約。

早起。揮毫ス。来客者、福田嘉子、青山御所ニ出勤ス、故ニ礼ヲ申来ル。松野篤義来ル。  
三条資君様書賜ル。

受方摘要 宮城世し子、万知子、伊佐尾、金五円。

三月五日 丙申 土曜 雨。

早起。揮毫ス。来客者、日就社員鈴木光治郎。此日、石山基威来、寄宿ス。

三月六日 丁酉 日曜 終日雨。  
早起。揮毫ス。塾生、雨中ヲ冒して続々帰校ス。

三月七日 戊戌 月曜 晴朗又小雨。

七日早起。授業始ヲナス。総ての学科改良ス。来客者、万里小路ため、日就社社員鈴木氏、吉田信子入塾ス、其母、及堀口氏親類ノ者。日々新聞聞秀美談ニ花蹊之談出ル。

三月八日 己亥 火曜 晴、風。

早起。課業如例。

三月九日 庚子 水曜 晴朗。浄校院百ヶ日。

早起。余、同愛治郎、千久子、伝通院ニ詣ス。已ニシテ、重威、治子、藤袴内侍代理鶴女来。八時、本堂ニ於テ、僧十二人読経。仏事畢而墓参ス。余、十時帰校、直ニ課業ス。午下、往岩倉邸、教授シテ、往姉邸。百ヶ日参詣之人々来会。夕餐ヲ饗セラル。夜九時、愛治郎、千久、桃子ト同ク散歩シテ帰。月光、寒如刀。此日、江沢房子入塾ス。

三月十日 辛丑 木曜 晴、寒甚、夜霰又雨雪。

早起。課業如例。来客者、山内八重子。日々新聞聞秀美談二三条富子、大谷恵子、田村増之談出ル。

三月十一日 壬寅 金曜 朝雪、又雨、已而晴。

早起。課業如例。午下、目黒山県邸ヲ訪フ。夫人不在ニテ、家令ニ面ス。已而帰。又、小松殿下ニ詣ス。若宮帰朝ノ祝詞ヲ申フ。殿下及御息所ニ謁シ、**間談**移時、御前ニテ薄茶ヲ喫ス。已テ去、又田村氏ヲ訪フ。晚餐ヲ喫シテ、入夜、帰。

\*間談(閑談)

三月十二日 癸卯 土曜 晴、夜雨。

早起。課業如例。午下、拉生徒、往植物苑。帰路、盲啞学校ニ行、授業工作等ヲ縦覧シテ帰。来客者、藤堂俊子。

三月十三日 甲辰 日曜 朝大雨、午下晴、殊暖。

早起。揮毫ス。来客者、山田氏。

三月十四日 乙巳 月曜

早起。課業如例。来客者、伊藤哥子母、及保証人野口本之輔妻来。歌子退校願出。

伊藤歌子、絹（〇）一疋。

三月十五日 丙午 火曜 晴朗又細雨、已而晴。  
早起。課業如例。午下、墓參ス。来客者、井上市兵衛、其妻松。

三月十六日 丁未 水曜 晴朗、寒甚、氷結。  
早起。課業如例。午下、岩倉邸二行、稽古シテ帰途、過姉邸、日暮帰。夜、玉枝来ル。  
受方摘要 小蘋潤筆、一円。

三月十七日 戊申 木曜 彼岸ノ入。晴朗。  
早起。課業如例。明日、生徒引率盲啞学校二行約束ス。此日、生徒書画会ヲ設ク。来客者、夜（以下、記述ナシ）

三月十八日 己酉 金曜 終日雨。  
早起。課業如例。午下、南条氏談話会。此盲啞学校行、雨中ニテ止。五時頃ヨリ姉邸二行。歌曲会也。夜十時過、帰。

三月十九日 庚戌 土曜 雨。  
早起。課業、畢而揮毫ス。

三月二十日 辛亥 日曜 春季皇靈祭。朝雨、午下晴、寒甚。  
早起。揮毫ス。午下、堀田伴子、及大黒氏、池田禄子来。墓參ス。  
受方摘要 堀田伴子、七十五錢。

三月廿一日 壬子 月曜 終日雨。  
早起。課業如例。晡時、姉邸二行。

三月廿二日 癸丑 火曜 晴朗。  
早起。課業如例。晡時、姉邸二行。来客者、佐野信子。

三月廿三日 甲寅 水曜 雨。  
課業如例。午下、岩倉邸二行、稽古シテ帰。

三月廿四日 乙卯 木曜 朝雨、午後晴。  
課業如例。晡時、姉邸ヲ過、暫シテ帰。去ル廿二日、尾州大火、千二百五十軒焼出ス。

三月廿五日 丙辰 金曜 雪散来、寒甚、氷厚。 花成仏ス、明治廿三年。  
課業如例。 来客者、井上妻松、大黒氏。 去ル廿二日、遠州浜松大火。  
弘方摘要 所志菓子代、一円廿三銭。

三月廿六日 丁巳 土曜 晴朗、寒甚。 夜雨、又ハ雪、寒甚。  
課業如例。 汲泉会準備中、頗多忙。

三月廿七日 戊午 日曜 天晴天、風甚。 第五回汲泉会。  
早起。 全家裝飾全齊。 午下一時、来客者続々集会ス。 第一教場ニ於テ卒業式ヲ举行ス。 始  
校長祝詞ヲ伸ヘ、次ニ、大谷恵子生徒総代答辞ヲ伸フ。 次、卒業生ニ証書ヲ授与ス。 次ニ、  
君か代唱歌、卒業生及生徒一同。 弾和琴者、長沢栄子、井田鉄子、松本竹子。 式全畢、第  
二教場ニ於、余興ニ、**吉村幸左衛門**、長唄鶴亀、下方囃子等、頗有興味。 次、小三演舌。  
次、二人碗久、六松ノ三弦、甚妙。 又、小三演舌。 次、汲泉会ノ合作ノ新作如見。 劇興全  
畢。 来会者、小松宮御息所、其外華族、紳士、姫、令嬢、百五十余人、総テ塾ニテ喫食ス。  
六時、全畢。

\*吉村幸左衛門(芳村幸左衛門)

三月廿八日 己未 月曜 晴、寒甚。  
午下、詣貴婦人会。 休業。

三月廿九日 庚申 火曜 密雪紛々、積及寸。  
早起。 課業如例。 晡時、往姉邸、夜帰。

三月三十日 辛酉 水曜 晴、大風。  
早起。 課業如例。 午下、往岩倉邸、教授シテ帰。

三月三十一日 壬戌 木曜 陰。  
早起。 課業如例。 晡時、過姉邸、夜帰。

(三月會計、記載ナシ)

(四月)

四月一日 癸亥 金曜 晴、入夜雨、暴風寒甚。  
早起。 課業如例。 朝、墓參ス。 通学生入門、小瀬松子。

弘方摘要 袖口二懸分、三十銭。

四月二日 甲子 土曜 朝大風雨、已而晴、如拭、風強。  
早起。如例。十一時、千久、桃子、大谷恵子、安田暉子、谷菅を拉シテ、田村氏之招待ニ  
応し、**歌舞妓座**見物ス。愛治郎先在。終日之樂也。張谷せつ子入門、通学生。押本鏡子入  
門、通学生。

\*歌舞妓座（歌舞伎座）

四月三日 乙丑 日曜 朝晴、又陰、雨、雷鳴、已テ晴。  
早起。揮毫ス。岩浪稲子入塾ス。森次子。来客者、山本鶴子、河津敏子、福山人吉田房治  
郎、築井愛資、寺田福寿。京都大聖寺、書及**簡利**運送ス。

\*簡利（行李）

四月四日 丙寅 月曜 晴朗。  
早起。課業如例。午下、俄然拉塾生六十人ヲテ、小石川盲啞学校ニ參觀ス。盲啞人ノ授業  
ヲ見ル。寄宿生ヨリ盲啞生徒え御土産として金五円ヲ贈ル。夫ヨリ近き野辺ニテ土筆ヲ摘、  
五時帰校ス。夜、大黒氏来。

四月五日 丁卯 火曜 晴朗。  
早起。課業如例。大関初子退校ス。宮城藤袴内侍様え宇宙之光小冊子十部献上ス。  
受方摘要 池田幸子、五円。

四月六日 戊辰 水曜 朝細雨、已テ止、晴朗、無風。  
早起。課業如例。来客者、中村元嘉氏来。文子本月九日結婚之式ヲ挙ル由、告ラル。山田  
氏、大黒氏。

四月七日 己巳 木曜 晴朗。晴天。  
早起。課業如例。午下、過中村元嘉氏、文子結婚祝詞ヲ伸へ、鶏卵一箱、白縮緬一反箱入  
ヲ祝ス。暫時ニシテ帰途、過姉邸、晡時帰。来客、川村福子、加茂富子。加茂静江入塾ス。  
川村氏より蒸菓子一箱。加茂より蒸菓子一箱。山口糸蔵、赤飯料理一箱。

四月八日 庚午 金曜 晴朗、春暖。  
早起。課業如例。此日、始桜花開。来客者、外務省人渡辺邁。佐藤平四郎、書至。  
鶏卵一箱。節子より金地櫛。

四月九日 辛未 土曜 晴朗。

早起。課業如例。午下、拉生徒、近野逍遙、摘春艸、帰。余、誕生日之祝筵ヲ設、生徒一同え赤飯、煮シメヲ饗ス。晡時、姉邸二行、已而帰。来客者、佐野信子、秋月藤子、川村福子、佐々木信綱。昨夜一時後、神田大火。時、烈風殊甚、火勢焰々焦天、可驚。鶏卵一箱。菓子一箱。五家棒。歌の葉。艸ノ餅一重。

\*五家棒（五家宝）

四月十日 壬申 日曜 晴 大風。

早起。揮毫。昨夜大火不止、正午十二時、漸火止。朝、佐野信子来。夜、過姉邸、已テ帰。神田ノ大火、焼失戸数四千二百十九。西ノ久保大火。本日午前零三十分頃、焼失戸数二百六十戸余。千葉ノ大火、本日午前二時三十分、焼失戸数五百戸。次ハ小田原大火。塔ノ沢ノ大火、殆全焼也ト云。

\*零三十分（零時三十分）

四月十一日 癸酉 月曜 晴朗。

早起。課業如例、晡時、過姉邸、已テ帰。静岡之人森恭次子母来。中島千恵子再入門。房州人小原政子入塾ス。横浜原氏より書至、安子事、今日午後一時男子出生、告来ル。森氏より静岡蒔絵文庫。小原氏より蒸菓子一折、漬物二箇。中島氏より鮓一重。

四月十二日 甲戌 火曜 雨、終日降続。

早起。課業如例。横浜原氏え寄書。玉枝来。

四月十三日 乙亥 水曜 朝雨、午下晴、殊朗。

早起。課業如例。午下、岩倉邸ヲ過、教授シテ、久米氏ヲ訪。帰途、姉邸ニ寄、帰。飛驒矢島氏え書ヲ寄ス。紀州浦氏、千葉伊藤氏えも。十一日、芝愛宕下町ノ大火ニ焼失したる戸数、四百九十四戸。去ル九日、静岡ノ大火。陸中釜石ノ大火、三百四、五十戸焼失。富山ノ火事、百戸余。金剛山も一焦土ニ帰せしと云。北川貞子より松のすし一箱。

四月十四日 丙子 木曜 晴朗。

黎明五時乗車、過姉邸、同 重威、治子、高尾山ニ参詣ス。六時発車、新宿植物御苑ノ桜花ヲ観ル。映旭日、其状如紅雲。石山氏ヲ訪、新宿六時五十五分一番汽車ニ乗ス。芳村氏、先在、同行ス。中野、荻窪、堀、国分寺、立川、日野、八王子ノ八停車場ヲ経テ、八時着。此汽車中、赤松林、杉林、栗林、小松原、或麦畑、桑畑ノミ、処々桜桃盛開。八王子、乗車、小名路宿山口屋茶亭ニ休憩ス。従是命車、高尾山麓ニ着。直歩櫛山、琵琶瀑ニ着。名瀑也。従夫又登登二、此山上之高、諸山皆在下。此名山、樅、或杉、松、嶺木、皆千年余ノ物也。松杉之間ヨリ、諸山、及相摸川、繪島等、眺望頗奇絶、遂高尾権現ヲ拝ス。

帰途、山路易行也。実ニ神ノ靈驗宏大、可抑可拝。午下二時、山口屋ニ帰、午餐ヲ喫ス。三時後、同亭ヲ發シテ、八王子停車場之茶店ニ憩フ。五時三十五分、仕舞汽車ニ乗シテ新宿ヲ着。命車、京橋山田氏ヲ訪、暫時ニシテ去。十時後、帰校ス。

稲垣家ヨリ酢三重。

弘方摘要 山田氏え二円。

\*堺(境) \*嶮木(喬木) \*絵島(江島) \*可抑(可仰) \*新宿(ヲ(ママ))着

\*酢三重(鮭三重)

四月十五日 丁丑 金曜 晴、午下雨。

早起。課業如例。午下、南条氏来、談話畢。秋月藤子、同某子来、入門。午下四時、塾生ヲ拉シテ、江戸川ノ桜花ヲ觀。途路逢雨、水道町万里家ニ行、避雨。暫時ニシテ雨止。夫ヨリ江戸川桜花ヲ觀、姉邸ニ憩ス。已ニシテ去。帰路、所々之桜花ヲ觀テ、晡時帰ル。秋月氏ヨリ半紙五十帖。

四月十六日 戊寅 土曜 晴朗。 中村元嘉氏紹待、午下五時、紅葉館ニ出向。

早起。課業如例。朝、西村政子来。広田千代子母来。田中政子入塾ス。午下五時ヨリ往紅葉館、中村文字、三郎氏結婚相齊ニ付、其祝筵ヲ設ケラル。来客者総テ司法省之人、五十人程也。

広田氏ヨリ蒸菓子一折。西村信子より花色絹(〇)一疋。下婢大より鶏一羽。

弘方摘要 高雄山行費、五円。

受方摘要 田中氏ヨリ金一円。

\*紹待(招待) \*高雄山(高尾山)

四月十七日 己卯 日曜 終日曇天。

早起。同 愛治郎、時得子、散步シテ、安部邸、大学校中之桜花ヲ觀テ、東台ニ至ル。上野ノ桜花満開、朝とハ雖と花見る人之絡繹如織。先々静ニ花見て帰る。時、八時也。佐藤氏ヨリ鶏卵大一箱。

四月十八日 庚辰 月曜 終日雨不止。

早起。課業如例。午下、冒雨、明石屋吉川丸ヲ命シテ、花見船ヲ設ク。此会者、余、愛治郎、千久、桃子、大谷恵子、山口梅子、松野鉄千代、岩浪稲子、谷菅、伊吹竜江、安田輝子、吉見捨子、田村増子、高屋鱗子、重威、万里通房、為、栄十八人也。水道橋より乗船ヲ行。殊更雨中之景、又一層之奇絶也。馬屋橋安田善治郎氏へ行。庭苑ノ結構又不可言。暫時ニシテ、又乗船ヲ墨陀之花ヲ賞ス。十里ノ長堤、桜花含雨、水煙糲糊として無限、ニ奇觀也。船中之興、又不可言。茗溪ニ着。時、七時也。又乗車而皆帰校ス。

けふのみハすたのけしきを買きれり

\*馬屋橋(厩橋) \*水煙糰糊(水煙模糊)

四月十九日 辛巳 火曜 晴朗。

早起。課業如例。午下発車、★(立十青) 国神社之桜花ヲ観ル。加茂氏ヲ訪フ。楼上ニテ眺望ス。已ニ去テ三条邸ニ詣ス。有約、御庭苑之桜花満開、閑院宮妃智恵子君成らせらる。桜井増子ト余ト也。宮殿楼上ノ桜花、所々遠望、西ニ不二嶺、東ハ品海、実一大活画ノ如シ。宴ヲ設ケラル。晡時、全畢去。帰路、車上ニテ、

車走せて花の下道行まゝに脊にも袖にもかゝるしら雪

訪姉邸、去、帰校ス。

田村氏ヨリ**わツふる**一箱。**太野太代子**、菓子一箱。小松宮様ヨリ**鳥の子もち**一箱。三条治子様より書翰箋及半襟。

受方摘要 小松宮、金一円。大野太代、同(金) 同(一円)。

\*わツふる(ワツフル) \*太野太代子(大野太代子) \*鳥の子もち(鳥の子餅)

四月二十日 壬午 水曜 晴、風。

早起。課業如例。朝、庭園中逍遙しなから、

池の辺の桜の花の散そめて水の上にもつもるしら雪

午後、岩倉邸ヲ過、教授して、帰途、過姉邸、暫時ニシテ帰。藤袴様より書至。愛治郎、横浜ニ赴ク。夜帰。

受方摘要 大谷恵子、十五円。

花月堂より菓子一箱。田舎乳母より艸の餅、鶏卵。田舎せいより**柏もち**一箱。

\*柏もち(柏餅)

四月廿一日 癸未 木曜 曇、風。

早起。課業如例。榎本久米子入門ス。来客者、木田万右衛門及長二郎、中井敬所、大野太代子。閑院宮智恵子君より稲葉隆子書至。北海道庁渡辺千秋氏より書至。

榎本久米子より蒸菓子一折。**太野太代**、蒸菓子一折。木田万右衛門、菓子二折。

\*太野太代(大野太代)

四月廿二日 甲申 金曜 晴天。来客。

早起。課業如例。午前二時頃、地震。来客者、成田菊。晡時、姉邸ヲ過。

成田きくより半襟二掛、ソセイジ鐘詰二ツ。稲垣氏ヨリ干大根、新和布。山口とめより香水、シヤボン。

四月廿三日 乙酉 土曜 晴天。

早起。課業如例。来客者、牛込幸子母、宇都宮高子、中島称善。新場しけ女、下婢ニ抱ル。

中島称善、鶏卵一箱。さゝれ石鐘入、宇都宮高子より。新場しけより艸の餅一重、イリノ一重。

四月廿四日 丙戌 日曜 晴天。有客。

早起。揮毫ス。余、同愛治郎、桃子、泰、神奈川成田氏ヲ過ク。喫昼飯、四時五十五分、乗汽車、帰。過山田氏、入夜、帰。

弘方摘要 神奈川行、三円。

中山良子より紀州酢漬一瓶、同福神漬一瓶。

四月廿五日 丁亥 月曜 有客。晴天。

早起。課業如例。来客者、越後大塚益郎、同妻はつ子、小能礪子、其父ト也。晡時、姉邸、及万里氏ヲ訪フ。

受方摘要 小能礪子、二円。

高島孝治氏ヨリ干魚一籠。大塚益郎より越後本場縮（〇）一反、鱈ノてんふ一曲。  
\*てんふ（田麩）

四月廿六日 戊子 火曜 雨。

早起。課業如例。

四月廿七日 己丑 水曜 雨。有客。

早起。課業如例。午下、岩倉邸二行、教授して、帰途、過姉邸、糸竹管弦之演習会ニテ、入夜、帰。来客者、佐藤とせより人来、画の法帖ヲ託ス。

受方摘要 佐藤とせ、金一円。

四月廿八日 庚寅 木曜 雨。

早起。課業如例。此朝、久米節子、昨午前十一時、女子**娉婉**、兩人共壯健之由告来。中島称善氏え寄書。午下、貴婦人会ニ参詣ス。千久子、久米氏え行。片岡万寿子来ル。山口梅子退校ス。

弘方摘要 宇宙ノ光代、寺田氏え渡ス、一円八錢。

片岡増子より菓子一箱。

\*娉婉（分婉）

四月廿九日 辛卯 金曜 晴。有客。

早起。課業如例。午下、三条富子君来られ、絹本大幅揮毫被遊ル。来客者、中島称善氏。此夜、万里通房、為、栄、来。横浜原氏、及田村利よしえ初節句ニ付、飾馬ヲ祝ス。岩倉家ヨリ竹の子沢山。中島氏ヨリ養老酒。

四月三十日 壬辰 土曜 雨。来客。  
早起。雨中命車、閑院宮邸内峰氏へ行、愛子之縁段申入ル処、両親共大悦ニテ早速承諾致され、帰途、中島称善氏へ行、相談相咨ひ、三日見逢之事約束ス。帰、課業如例。森次子退塾ス。

\*縁段(縁談)

四月會計

払方摘要 総計 十一円三十銭。

受方摘要 総計 廿六円。

(五月)

五月一日 癸巳 日曜 朝霧雨、已而晴。

早起。揮毫ス。来客、渡辺千秋氏使伊藤隆三郎、北里虎子。午下、同桃子、久米へ行、帰途、姉邸二行、日暮、帰宅ス。

加茂氏より柏餅一重。北里虎子ヨリ、カル、ス煎餅二罐。

五月二日 甲午 月曜 雨。有客。

早起。課業如例。来客、萩原員光子爵来。市川政子、守屋鍬子入門。海田金子、長倉菊子入塾ス。伊吹竜江帰国ス。

五月三日 乙未 火曜 雨。

早起。課業如例。来客、農学士谷千代太郎氏、豊田子ヲ引誘来。豊田入塾ス。午下、峰氏へ行、愛子同道ニテ中島称善宅二行、南条氏ト見逢ス。両方共承諾ス。告テ峰氏へ行、両親ニ見逢之模様ヲ告ケ、塾談ス。両親之悦無極。喫晚餐テ帰。大黒氏来。留守中、伊吹義八郎来。

伊吹氏ヨリ、奉書三束。

\*塾談(塾談)

五月四日 丙申 水曜 雨なし。無客。

早起。課業如例。午下、山田氏来ル。川勝品及其祖母来ル。四時ヨリ岩倉氏へ行、帰ル。川勝品子より、蒸菓子一箱。万里家ヨリ白★(木+鄭)躑大木。田村利福ヨリ、松魚一箱、柏餅一重。

\*白★(木+鄭)躑(躑躅)

五月五日 丁酉 木曜 無雨。

早起。課業如例。朝、松野氏妻禎子、大病ニ付、見舞之為、菓子一箱贈ル。沢元麿、三浦  
窈子与七日結婚ニ付、松魚一箱ヲ送ル。此日、遠藤氏事件關係ス。午下、松野氏ヨリ訃音  
来。今朝六時、禎子死去。余、晡時、松野氏え悔ニ行、帰途、姉邸ヲ訪、帰。  
森長祥紹介田村氏ヨリ松魚一箱。

五月六日 戊戌 金曜 雨。

早起。課業如例。来客、南条氏来。高岡弥太郎。

田村増子より半襟二掛、糸編袋物。

第三回国会開設。

五月七日 己亥 土曜 晴天。有客。

早起。課業如例。午下、盲啞学校音楽慈善会ニ行。同行者、毛利六郎君、毛利万子、式  
子、梅子、千久子、桃子、稻子、時得子、竹子也。五時、中ニシテ帰。晡時、中島え行、  
称善同道ニテ峰氏え行。酒肴ヲ饗せらる。中島氏紹介ス。八時後、去ル。来客者、公爵毛  
利六郎君、公爵九条家中川子也。  
弘方摘要 盲啞学校買物、廿錢。

五月八日 庚子 日曜 無雨風。

早起。泰児と共に墓参ス。終日揮毫ス。

牛込幸子よりカステイラ一箱。大塚陽子母より煎餅二袋。

谷菅子を一周間——。

\*一周間(一週間)

五月九日 辛丑 月曜 晴天。有客。

早起。課業如例。来客者、丸山昌子母及其弟、大坂高岡弥太郎氏、余、桃子、高岡氏同道ニテ  
万里氏え行、高岡氏紹介ス。愛治郎、横浜石井氏え悔ニ行、香奠千疋ヲ贈ル。

丸山昌子母より白砂糖一箱。佐羽梅子より蒸菓子一折。

五月十日 壬寅 火曜 雨。

早起。課業如例。来客者、森永琴子及辰枝也。辰枝子、此日入塾ス。中川唱鳳え今様作歌  
六首ヲ贈ル。

受方摘要 森永辰枝、五百疋。

田村増子より自園新茶一袋。森永辰枝より菓子一箱。原善一郎宮参りニ付、松魚一箱、紅  
白鳥の子餅。

牛込幸子、此日より一週間――。

\*一週間(一週間)

五月十一日 癸卯 水曜 昨日ヨリ降続、朝ヨリ雨、十二時頃ヨリ晴天。有客。

早起。課業如例。午下、同桃子、一時十分汽車ニ乗テ、横浜原善三郎氏ニ往。当日善一郎  
児土神参リニ付、応招。七時五分汽車ニテ帰。帰途、山田氏ヲ訪フ。来客者、田中栄子、  
田中滝子来。

受方摘要 田中氏ヨリ、五円。

払方摘要 横浜汽車費外二車代、壹円。

五月十二日 甲辰 木曜 晴天。有客。

早起。課業如例。愛治郎、朝一番汽車ニテ芙蓉詣スル。五時出門。此時、雨晴。石田カイ  
子入門ス。来客者、吉田信子母来。中島称善氏書至云、九日南条氏結納済。  
新場勝ヨリ頭半小芋。石山基武ヨリ鶏卵一箱。

\*石山基武(石山基威)

五月十三日 乙巳 金曜 晴。有客。

早起。課業如例。午下、宗家之行、説教聴聞ス。畢而帰ル。晚、姉邸ヲ訪フ。来客、酒井  
錫子、其妹時子、入門ス。峰孟親ヨリ書至、九日愛子え結納之式済、告来。

受方摘要 毛利氏ヨリ三円。

払方摘要 吉村房え一円。

酒井氏ヨリ鶏卵一箱。宗氏ヨリ鶏卵一箱。跡見暉一ヨリ干白魚一籠。

五月十四日 丙午 土曜 半天。朝六時、俄然雨如驟雨、已而晴。有客。

早起。課業如例。午下、拉栄子、訪松野氏、山田氏、帰。来客者、京都高等女学校校長某、  
学校參觀ス。

安田氏ヨリ飾箒木二本。

谷菅子満。

五月十五日 丁未 日曜 雨。有客。

早起。揮毫ス。晚、姉邸ヲ訪フ。此日、重威、江口、從江島帰。

小林氏ヨリ蒸菓子一箱、煮茶一箱。岩浪氏ヨリ蒸菓子一箱。

\*煮茶(煎茶)

五月十六日 戊申 月曜 半天。

早起。課業如例。午下、詣閑院宮、稽古シテ去。訪姉邸、已而帰。此朝、三条治子君御成

之筈、大雨ニテ御断ニ相成。  
安田暉子ヨリ衛生飴一箱。閑院宮智恵子様ヨリ白縮緬切地、夏柑。  
牛込幸子満。

五月十七日 己酉 火曜 晴天。有客。

早起。課業如例。午下、岩倉邸ニ行、教授シテ帰。来客者、渡辺千秋氏妻君及両嬢来。渡  
辺千夏子、鶴子、入塾ス。

弘方摘要 芳村竜えセル地、五円七十銭。

山田欽子より鮎粕積一箱、松露一籠、曇鯛。南部美代野ヨリ紅白餅一重、西洋菓子一箱。  
渡辺千秋氏ヨリ薩摩焼薄茶茶碗。

\*鮎粕積(鮎粕漬)

五月十八日 庚戌 水曜 晴天。

早起。五時出門、同重威、乗六時五分汽車、鎌倉ニ出立ス。八時二角正ニ着。前行者朝飯  
中也。已而八幡宮ニ参詣ス。畢而所々見物ス。帰、昼飯済テ材木座海辺ニ行、皆海水ニ浴  
ス。実ニ天晴朗ニシテ其楽也、優々初夏之長ヲ愛ス。地引ヲ命ス。大勢乗船、三度網ヲ引、  
得魚。畢テ、小高キ所ニ平地有リ、松樹ノ陰ニ氈ヲ布、[団戀](#)シテ弁当ヲ開キ、相互ニ興シ  
合、其楽無極。日西ニ向トシテ皆帰ヲ促ス。角正ニ帰、夜餐後、皆歌舞、互ニ芸ヲ尽ス。  
畢而臥。

\*[団戀](#)([団戀](#))

五月十九日 辛亥 木曜 晴朗。

朝起。飯後、近辺逍遙ス。此亭主、古器物ヲ出シ見セシム。仏画、劍類、其外種々、多ク  
ハ贗物也。午後三時二十分、乗汽車ヲ帰。五時過、新橋ニ着。山田氏え寄、暫時ニシテ帰。  
余不在中、宇都宮高子来、統地額面依頼ス。

宇都宮高子よりツクタ煮一曲。

\*ツクタ煮(佃煮)

五月二十日 壬子 金曜 晴朗。

早起。課業如例。午下、書画会ヲ設ク。盛大也。三時全畢。

五月廿一日 癸丑 土曜 晴風。有客。

早起。課業如例。午下、閑院宮邸ニ詣ス。智恵子君ヲ教授シテ帰。帰途、姉邸ヲ訪フ。已  
而去。来客者、大坂高岡氏及井上泰蔵。

下婢さより新茶一袋、芍薬花。

山中氏——。

受方摘要 勢多威子、岡本岸枝、伊藤澄、土山松、六円廿五銭。

五月廿二日 甲寅 日曜 晴。有客。

早起。揮毫ス。高山矢島氏え画ヲ出ス。宇都宮氏え書を寄ス。来客、峰親彦、大伴兼女、大黒氏、神田幸平妻。

大伴兼ヨリ鶏卵一箱。神田幸平ヨリ松魚一箱。

角田千重子——。

五月廿三日 乙卯 月曜 半天、夜雨。有客。吉。

早起。定期試験執行。朝、丸山昌子祖父、大病ニ付迎來、即帰国。来客、原富太郎來。余、桃子、富太郎氏同道ニテ不二見軒ニ行。此途路、愛治郎二逢、道行ス。洋餐ヲ喫ス。逢雨、命車而帰。原氏ハ浜ニ帰。鹿島岩蔵より絹本豎物画ヲ乞。

弘方摘要、鎌倉入費、金三円。

\*道行(同行)

五月廿四日 丙辰 火曜 雨。無客。吉事。

早起。課業如例。来客、高岡弥太郎帰坂之暇乞ニ來、築井千よ司來。

築井氏、白紬(〇)一反。

岩浪稻子入門。

五月廿五日 丁巳 水曜 終日、大雨、四時頃ヨリ風ヲ交、入夜、大風。無客。吉。

早起。課業如例。雨中ニテ岩倉邸え行ヲ止。築井環、其姉ト共ニ帰国ス。

五月廿六日 戊辰 木曜 晴。有客。吉。

早起。課業如例。此日、定期試験全畢。午下、往岩倉邸、稽古シテ去。山田氏ヲ訪フ。帰途、訪姉邸、帰。此朝、久米節子女産着ヲ祝フ。上着時色縮緬紋附松竹梅牡丹菊花丸模様、下着緋紋壁、襦袢緋幽仙、御守袋ト也。

弘方摘要 神前え五十銭。

吉田述子ヨリ蒸菓子一箱。

\*時色(鴉色) \*幽仙(友禪)

五月廿七日 己未 金曜 朝ヨリ曇天、午下一時頃ヨリ雨、入夜、大雨。有客。吉。

試験後、休業。此日、共立育児会総会、有栖川宮御後園ニ執行セラルニ付、正午十二時出門。田村長子誘引シテ渡辺妻ト同シク行。此時、雨降出シ、御名園雨中ノ藤好。御茶屋ニ休憩シ、茶菓ヲ喫ス。参集スル者頗多。殊ニ雨甚シ。終、御殿中ニテ若宮ノ御息所ニ謁ス。夫より茶菓ヲ賜リ、畢一同退出ス。又寄田村氏、喫晚餐而帰。時、万里榮來。牛込幸子、

其母来。

田村増子ヨリ西洋化粧品入美箱一箇。  
山中氏卒業。

五月廿八日 庚申 土曜 晴。有客。吉。

早起。此日、久米節子女町枝、宮参リニ付、赤飯来。午下、桃子、恵子、菅子ト同ク、浅草貴婦人会ニ参詣ス。畢而帰。又子供等拉テ、姉邸ニ行、晚帰宅ス。

久米氏ヨリ赤飯一重。沢元丸ヨリ松魚一箱、蒸物一重。万里家ヨリ空豆。  
角田千重子卒業。

五月廿九日 辛酉 日曜 晴天。有客。吉。他出ハ午後。

早起。来客者、宮原六之助、及中島称善、大黒屋来。南条氏結婚ニ付、松魚一箱、[すき屋](#)一反ヲ祝ス。峰愛子結婚ニ付、松魚一箱、[すき屋](#)一反ヲ祝ス。神田琴子結婚ニ付、松魚一箱、帯地一本ヲ祝ス。夕景ヨリ桃子ト同シク山田氏へ行。

弘方摘要 車代、三十銭。

宮原氏ヨリ香水二瓶。山本安治郎ヨリ奈良漬一桶。

安田暉子 [一周間](#)——。

\*すき屋 (透綾) \*すき屋 (透綾) \*一周間 (一週間)

五月三十日 壬戌 月曜 晴。有客。吉。午後他出。

早起。揮毫ス。午下、往峰氏、及中島氏、南条氏へ行。帰途、姉邸ニ行、晡時帰。

千家国子ヨリ和布沢山。

堀田善子 [一周間](#)——。

\*一周間 (一週間)

五月三十一日 癸亥 火曜 晴。吉。

早起。法帖揮毫、課業如例。午下、絹本秋の花鳥之図揮毫。晡時、稲子ト同シク、姉邸ニ行テ帰。

小栗栖香頂、越後より帰京ニ付、土産として越の雪一箱。

(五月会計、記載ナシ)

(六月)

六月一日 甲子 水曜 雨。無客。午下他出。

早起。課業如例。午下、閑院宮、及岩倉邸二行、教授シテ、帰途、山田氏ヲ訪。入夜、帰。大沢照子ヨリ松魚、一円切手。吉田庸子ヨリ蒸菓子一折。中村文子ヨリ松魚一折、赤飯一重。

六月二日 乙丑 木曜 晴。有客。吉。

早起。課業如例。午下、九条家中川老女来。晡時、万里通房、及為、榮来。南条氏え書ヲ寄ス。

九条家より交肴一折。万里小路より、すもし一重。

六月三日 丙寅 金曜 晴。有客、山田氏午下、正午早々。吉。

早起。法帖揮毫ス。此朝七時過、地大震。課業如例。春田初子、新井信子、小島氏女、入門ス。来客者、山田氏、小島氏妻茂子、其女ト也。教長云、治子妊娠胎児之予言アリ、不可疑。

石井初子より亡父志、蒸菓子一折、料理券、煮茶券。小島氏ヨリ松魚一折、奉書袖（〇）一反。

\*煮茶（煎茶）

六月四日 丁卯 土曜 晴。有客。吉。

早起。法帖揮毫ス。午下、岩倉邸ニ往キ、教授シテ、帰途、訪姉邸テ去。来客者、重威也。丸山昌子祖父死去ス。依而帰国ス。安田暉子満。

六月五日 戊辰 日曜 晴、午下五時頃、細雨来。有客。吉。

早起。朝、愛治郎、桃子、万里為、榮、五人連ニテ、三番汽車ニ乗テ、横浜原氏松山別荘ニ行。夫より元山山莊ニ行、庭中逍遙して昼餐饗応ニ逢。主人大喜。八重、富太郎、安子も来ル。午下、又三ノ谷別荘ニ行。終日、幽情ニ養ヒ、入湯シテ晚餐ノ饗応ニ逢。此時、宮原氏、小野氏皆同シク、三ノ谷ヲ去。点灯頃也。直ニ神奈川山口氏ヲ問ヒ、十時一分ノ汽車ニテ帰京ス。来客者、三条簾中治子君、及井上瑞枝也。森永琴子より、蒸菓子三重。井上瑞枝より、鶏卵一箱。閑院宮殿下より、イチゴ沢山。

堀田善子満。

\*逍遙（逍遙）

六月六日 己巳 月曜 半天。朝細雨、已而晴。有客。吉。

早起。課業如例。来客者、児島氏妻、及伊藤子之松、堀内花子也。浦早苗、書来。三条治子君、書ヲ呈ス。

六月七日 庚午 火曜 晴。吉。

早起。課業如例。午下、終日、法帖揮毫ス。朝、南条氏ヨリ書至云、峰氏ヨリ輿入延引申来。

松野氏ヨリ三十日祭、菓子一折、茶一鐘。

六月八日 辛未 水曜 雨。朝ヨリ曇天、午下七時頃より雨。有客。吉。

早起。課業如例。午下、岩倉邸二行、教授シテ帰。帰途、中島氏え寄、又姉邸ヲ訪テ帰。来客者、児島妻君、伊藤氏、松野鉄千代也。

松野花濤より、さらしな蕎麦一籠。角田栄子よりイチゴ。

六月九日 壬申 木曜 半天。有客。吉。

早起。課業如例。午下、稲子ト同シク閑院宮邸ニ詣ス。御息所君ニ謁シ、閑談移時。六時去。此夜、万里通房、為、栄来。佐藤利尾子父、来。

佐藤父ヨリ鶏卵一箱。万里家ヨリ、すもし一重。

六月十日 癸酉 金曜 終日雨。無客。吉。

早起。課業如例。午下六時ヨリ山田氏ヲ訪フ。夜九時帰。

六月十一日 甲戌 土曜 半天。朝大雨、已テ止、晴天。有客。吉。

早起。課業如例。終日、法帖揮毫ス。六時ヨリ、愛治郎、千久子、桃子、稲子、山田氏え行。

降しきる雨の下より雲晴てゆふ紅のそらそかしこき

安田暉子二七日満。

六月十二日 乙亥 日曜 晴。有客。吉。

早起。揮毫ス。朝、愛治郎、栄、鶴ヲ拉シテ、浅草觀世音ニ詣ス。帰途、山田氏ヲ訪フ。已而帰。来客者、峰孟親。

受方摘要 立花純子ヨリ五百疋。上田氏ヨリ壺円。

堀田善子二七日満、三条篤子一七日、佐藤利尾子。

六月十三日 丙子 月曜 晴。有客。吉。南条氏結婚、午下六時後、赤坂八百勘え出向事。

早起。課業如例。来客者、重威也。午後六時より赤坂八百勘え出向。暫時ニシテ、南条氏、峰愛子、同孟親夫婦、及子息、其舍弟、中島氏夫婦、外ニ南条妹婿、峰氏親戚之者、皆来、祝宴ヲ開ク。十時全畢。余、南条氏同行ニテ同家ニ寄、已而帰。

六月十四日 丁丑 火曜 晴、朝豪雨、已而晴。有客。吉。  
早起。課業如例。來客者、重威、伊藤子之松也。

六月十五日 戊寅 水曜 朝雨、午下三時、雨全晴、然し曇天。無客、吉。

早起。課業如例。午早々閑院宮、岩倉家ニ往、教授シ、畢而三条家ヲ訪、資君ニ謁シ、夕餐倍食シテ、直ニ山田氏ヲ訪フ。夜十時、家内一同帰宅ス。宗家藤井、大病之由告來。

さみたれにはらひ清めてけふこそは心もそらもはれわたる見ゆ

うたかひの曇りも雨も打晴て日影まはゆきけふにも有かな

重威ヨリ、すもし二重。

\*倍食(陪食)

六月十六日 己卯 木曜 終日雨。有客。吉。

早起。課業如例。午下、往宗家東殿、藤井訪病、危篤也。暫時ニシテ歸。來客者、重威、吉村也。

三条公美、三条資君

六月十七日 庚辰 金曜 半天。午下晴。有客。吉。

早起。課業如例。午下(コノ文、以下記述ナシ) 來客者、重威。南条文雄、及其妻愛子。午下、桃子、稻子、石山氏ト同ク、訪山田氏而歸。夜、山中氏有告。

田村増子ヨリ洋傘一本箱入。南条氏ヨリ松魚一箱、七子(〇)一疋。

六月十八日 辛巳 土曜 雨終日不止。有客。吉。

早起。課業如例。朝、揮毫ス。午下、法帖ヲ揮毫ス。來客、永倉菊子父、及河内国豊田福太郎來。福田郎食客ニ依頼ス。重威來。

永倉氏ヨリ鶏卵一箱、真綿二束。

三条篤子滿、佐藤利尾子滿、角田千重子、大崎梅子。

\*福田郎(福太郎)

六月十九日 壬午 日曜 晴。朝ヨリ雨切ナリ。午下五時、漸雨止、夕陽明。有客。吉。

朝四時夢醒。伊藤氏絹本草花揮毫ス。正午、落成ス。午下、揮毫法帖。終日也。來客者、重威ノミ。

みかけよくよ精々とみかけ光りかやく玉となる

日より乞のうた

雨をよふ蛙の声も打絶て月夜嬉しと鳴ほととぎす

\*切(しきり) \*くよ(みがけよ)

六月二十日 癸未 月曜 晴。有客。  
朝四時起。絹本秋七草にかゝる。課業如例。午下、法帖揮毫ス。余、姉邸二行テ帰。来客者、大塚忠治郎、伊藤子之松也。西村喜三郎子ヨリ、**此般信子**、島田三郎氏と結婚之約齊、愈廿四日興入之由申来。  
大塚氏ヨリ菓子一箱。伊藤氏ヨリ菓子一箱。  
永倉菊。

\*此般信子(今般信子)

六月廿一日 甲申 火曜 晴、風。

四時起。課業如例。畢而、午下二時廿分汽車ニテ、横浜西村氏へ行。此度結婚之祝詞申入、祝物ヲ贈ル。暫時ニシテ茂木氏ヲ訪、喫晚餐テ、七時之汽車ニテ帰。茂木氏ヨリ蓬萊山之幅借テ帰。信子え祝物、松魚一箱、白七子一疋箱入、高砂模様精好帛紗一箱入。

弘方摘要 汽車及車代、金貳円。  
南条氏ヨリ赤飯一重、松魚一袋。

六月廿二日 乙酉 水曜 晴。有客。

午前三時過、火アリ。鐘声響渡、眠醒起、課行ス。課業如例。午下早々閑院宮、及岩倉邸二行、教授シテ、三条家へ行、資君ニ謁シテ帰。帰途、姉邸二行、早々帰。

(来客) 伊藤子之松来。

角田千重満——**今一周間**、大崎梅子満。

\*一周間(一週間)

六月廿三日 丙戌 木曜 晴。客アリ。

四時起。課業如例。書画会執行ス。

(来客) 石井初子母来。

弘方摘要 山田氏え五円。

園頼子——。

六月廿四日 丁亥 金曜 晴。有客。

三時起。課業如例。画揮毫ス。

受方摘要 三条資君ヨリ二円。佐々木ヨリ一円。

峰氏ヨリ赤飯一重、松魚一折、京御召(〇)一反。森永琴ヨリ**ハン**一箱、蒸菓子一箱、味附海苔一罐。田村増子ヨリ帶上一ツ。

\*ハン(パン)

六月廿五日 戊子 土曜 晴。

四時起。課業如例。午下三時頃ヨリ姉邸ニ行入夜、帰。佐藤利尾子帰国ス。  
佐藤利尾子満。

六月廿六日 己丑 日曜 晴。有(客)。  
四時起。画揮毫ス。岩陽一宿ス。

(来客) 前田岩子、中村妻君及文子、山内八重子、宮原岩陽来。  
受方摘要 山内八重子ヨリ五円。

前田岩子ヨリ菓子一箱。中村文子ヨリ白絹(〇)一反。山内八重子ヨリ白縮緬(〇)一反。

六月廿七日 庚寅 月曜 雨。

四時起。課業如例。午下、訪島田三郎氏。同氏、及其父母、信子ニも逢、面談ス。夫ヨリ山内邸ニ行。八重子君、此度小松宮若宮様卜御結婚之約齊、弥七月六日御輿入ニ付、恐悦申伸ル。祝酒ヲ饗せらる。已而帰。右御祝とシテ、白絹一箱、松魚一箱ヲ呈ス。此夜、腹痛。

六月廿八日 辛卯 火曜 雨。有客。三条家礼経執行ス。

朝三時前起。課業ス。画帖揮毫ス。此日、夫より臥。貴婦人会不参ス。

(来客) 佐野信子来。

佐野信子ヨリ、カステイラ一箱。

六月廿九日 壬辰 水曜 晴。有客。

四時起。課行ス。朝ヨリ、佐野信子、斎藤蔵之輔妻、其女知賀子来、入門ス。午下、三条邸ヲ訪、又岩倉邸ニ行、教授シテ帰。

斎藤氏ヨリ蒸菓子一箱。同知香子ヨリ松魚一箱、都華織(〇)一反。

園満、角田千重子満。

\* 知香子(知賀子)

六月三十日 癸巳 木曜 晴。有客。

三時起。課行ス。画揮毫ス。晡時、姉邸ヲ訪ス。已而帰。小松宮依仁親王殿下、山内八重子殿ト七月六(日)御結婚被遊、翌七日芝紅葉館ニ於テ御宴会被遊候ニ付、御招状賜り候。

(来客) 遠藤義為、小木曾源左衛門来。

遠藤氏ヨリ白縮緬。小木曾氏ヨリ鶏卵一箱。

(六月會計、記載ナシ)

(七月)

七月一日 甲午 金曜 晴。有客。吉。  
朝四時起。課行ス。墓参ス。此日ヨリ教授半日ト定ム。山口稲子、入門ス。宮城御門鑑改正、イ第五九五三号。

(来客) 九条家中川、山口梅子、山口稲子、神田孝平妻及琴子。

受方摘要 毛利万子、五円。神田琴子、五円。

山口梅子ヨリ鶏卵一箱。山口稲子ヨリ洋酒二瓶。福原梅子ヨリ鶏卵一箱。神田琴子ヨリ鶏卵一箱。

七月二日 乙未 土曜 晴。有客。

三時起。課行ス。画揮毫ス。

(来客) 松平鞆子、佐々木豊子。

受方摘要 照子、梶子、駒子ヨリ四円五十銭。

松平鞆子ヨリ鶏卵一箱。佐々木豊子ヨリ鶏卵一箱。

七月三日 丙申 日曜 晴。有(客)。

二時起。課行ス。朝、小松若宮殿下え、此度御結婚恐悦申上ニ参殿ス。室崎二逢、暫時談話シテ去。松魚一箱、[数寄屋](#)一反ヲ献上ス。

(来客) 重威来。山本安治郎来。

受方摘要 紅葉内侍より三円。撫子内侍より三円。

\*数寄屋(透綾)

七月四日 丁酉 月曜 晴。午下三時頃、雷鳴、雨一シキリテ止、晴。客アリ。

夜十二時起。課業ス。画法帖揮毫ス。午下一時頃ヨリ姉邸ニ行、四時帰。此日、山田氏来。

(来客) 山田氏来。

受方摘要 樹下定江、三円。平田三枝、三円。生源寺いさを、三円。

桜井氏ヨリ三色羊羹一箱。

七月五日 戊戌 火曜 晴。有客。

四時前起。課行ス。画法帖揮毫ス。午下、書法帖揮毫ス。京都大谷御裏方え寄書。此日、後園遊歩ス。食堂窓外結籬ニ柱桜樹枯木ヲ以サカサニ樹ツ。此サカサマノ桜樹、葉枝精々繁茂ス。実ニ家ノ吉瑞也。

[図] 如此、二本共ニ同様也。

受方摘要 二位御局より五円。

石井初子一周間、広田一周間。

\*一周間(一週間) \*一周間(一週間)

七月六日 己亥 水曜 半天。朝晴、十時頃、雨一切ニシテ又晴。有客。  
四時起。課行ス。午下三時より岩倉邸ニ行、教授シテ帰。晡時也。

受方摘要 三条家ヨリ十円。大谷家ヨリ十円。

園頼子満。

\*切(しきり)

七月七日 庚子 木曜 晴。有客。芝紅葉館午後五時参会之事。

前一時起。課行ス。午四時、命車、到紅葉館。小松宮両殿下、若宮両殿下ニ拝謁ス。別当  
高崎、家令長崎、来客周施ス。御客、邦宮、同女王、華頂宮郁君、梨本宮、其外御親戚。

華族、紀州、伊達、有馬、山内之名々也。伊藤伯、伊丹、青山御所女官ト余也。御客中ヨ  
リ、跡見学校ハ御息所ノ製造所也トて大賞賛セラレ、名誉之至也。十時後、去帰。月満天  
涼風爽快。橋本夫人病氣、文出。

(来客) 福田芳子来。園基祥。

田村増子より御召縮緬(〇)一反。園基祥ヨリ鶏卵一箱、女房子三本入。福田芳子ヨリ蒸  
菓子一箱。吉村房よりいり物。

\*周施(周旋) \*名々(銘々) \*いり物(炒物)

七月八日 辛丑 金曜 晴。有客。

四時起。課業ス。朝、川村氏え面晤ス。午下二時頃ヨリ腹痛ニテ吐瀉ス。払熱、夜全治ス。  
重威来。

(来客) 川村伝蔵来。山口老母来。野口小蘋来。

成田菊より、タヲル半ダース。

七月九日 壬寅 土曜 晴。有客。

終日、臥蓐ス。

(来客) 島田三郎来。

受方摘要 中山正子より五円。園祥子より三円。

払方摘要 懐中小道具入二ツ、老円七十銭。同。

七月十日 癸卯 日曜 晴。有客。

四時前起。課行ス。桃子、稲子ト同シク、詣浅草観音テ帰。終日、法帖揮毫ス。

(来客) 伊藤子之松来。

受方摘要 森竹時得より一円。

弘方摘要 浅草買物、二円。

吉見捨子より洋酒六瓶。加茂氏より羊羹一箱。

七月十一日 甲辰 月曜 晴。有客。

三時起。課行ス。恵子様揮毫物絹本八枚落成ス。午下、法帖揮毫ス。

(来客) 松野篤義、小西有勲来。

受方摘要 安田暉子より十円。

弘方摘要 反物四反、二円七十五銭。

山登美津より干魚。大塚陽子より砂糖。松野氏より洋菓子一箱。小西氏より鶏卵一箱。

広田満、石川初子満。

七月十二日 乙巳 火曜 晴。午下、大雨交雷、已テ晴。有客。

午前二時起。課業ス。午下、従田舎、弘児来。此日、藤袴内侍様え中元、鶏卵一箱、角砂糖一箱、釣ランフ、女中えちゝみ三反、中居え三十銭ヲ贈ル。

(来客) 重威来。

稲垣銑子より鶏卵一箱。横浜原氏より角砂糖三箱。出入方より砂糖及素緬類沢山、不記。

池田愛子より氷砂糖一箱。

川勝品子一周間、山口稲子一周間。

\*釣ランフ(釣ランブ) \*ちゝみ(縮) \*素緬(素麵) \*一周間(一週間) \*一周間(一週間)

七月十三日 丙午 水曜 天晴、有明月如昼、已而大雨、及夜明天晴。有客。

午前二時前起。課業ス。朝七時より三条家二行。帰途、岩倉邸二行、教授シテ帰。午下三時ヨリ北白川宮ニ詣ス。御息所ニ謁、暫時ニシテ、又閑院宮ニ詣ス。教授シテ、被饗晚餐、已而帰。

(来客) 佐々木祐寛、松尾亨、岩浪母来。伊藤氏来。

受方摘要 岩倉家ヨリ三十円。松平岳子ヨリ三円。板倉閑子ヨリ五百疋。閑院宮ヨリ千五百疋。松子、澄子、岸枝ヨリ九円。

岩倉氏ヨリ白紹(〇)一反。三条家ヨリ壁すきや(〇)一反。大谷家ヨリ都華織(〇)一反。

松平岳子ヨリ鶏卵一箱。岩浪稲子ヨリ鶏卵一箱、菓子一箱。森永辰江ヨリ鶏卵一箱。

村田留子ヨリ砂糖一箱。閑院宮ヨリ都華織(〇)一反。山田欽子より砂糖一箱。

\*すきや(透綾)

七月十四日 丁未 木曜 朝雨、午下晴。有客。

午前二時起。課業ス。朝七時ヨリ恵子様ト同シク、岩倉邸二行、明日京都え出立之御暇乞也。此日、大谷恵子侍女谷菅子退校ニ付、松尾亨、佐々木高及同孫女御迎ニ来。四時、め

て度退校せられ候。

(来客) 角田栄子、松尾亨、佐々木妻及孫女、片岡君子、跡見玉枝。

受方摘要 斎藤知賀ヨリ千疋。中村敬子ヨリ二円。西村喜三郎ヨリ二円。

佐藤姑子ヨリ砂糖一箱。万里小路ヨリ砂糖一箱。近藤操ヨリ砂糖一箱。卯都宮ヨリ砂糖一

箱。中村文子ヨリ水仙糯五把。斎藤初香、蒸菓子、鶏卵一箱。谷管子ヨリ交肴一折。蒲生

氏ヨリ素麺一箱。角田氏ヨリ素麺一箱。高梨ヨリ奉書五束。片岡君子ヨリ西洋菓子一箱。

佐々木ヨリ蒸菓子一箱、洋酒二瓶。鳥居礫子ヨリ菓子一箱。玉枝ヨリ砂糖一箱、手套、は

かき挾。跡見重威ヨリ砂糖一箱。上芝岩太ヨリ菓子一箱。

\*めて度(目出度) \*妻(ママ) \*卯都宮(宇都宮) \*はかき(端書)

七月十五日 戊申 金曜 晴天、午下一時頃ヨリ雨及雷。有客。

四時起。課業如例。午下、画揮毫。午下、訪姉邸テ帰。夜、同桃子、往新橋停車場、大谷

恵子、及管子、松尾氏、送帰於京師。九時五十分也。十時三十分、帰宅ス。

(来客) 松野鉄千代。

受方摘要 松野利根ヨリ五円。広田千代ヨリ五円。牛込幸子ヨリ三円。堀田善子ヨリ千疋。

伊集院ヨリすきや(〇)一箱、松魚一箱。黒川氏ヨリ鶏卵一箱。新井信ヨリ鶏卵一箱。北

村静ヨリ鮎魚。三浦常子ヨリ鶏卵一箱。山崎元子ヨリ干菓子一箱、うちわ二本。宗藤井よ

り鶏卵一箱、紅白餅。(以下、衍) 伊集院ヨリ松魚一箱、すきや(〇)一反。

\*すきや(透綾) \*すきや(透綾)

七月十六日 己酉 土曜 晴。有客。

四時前起。課業如例。画法帖揮毫。此夕、十六日之園遊会ヲ執行ス。庭中樹々紅灯ヲ掲、

池辺かゝり火ヲ焼、床几ヲ所々並候。塾生一同え、白玉、及すいとう、或はらむね、菓子

ヲ饗ス。一同、観を尽して帰室ス。時、十時後也。

(来客) 万里通房、池田花疇、跡見重威、皆中元来。上芝岩太、桐淵道斎。

受方摘要 池田孝ヨリ二円。

山内家ヨリ松魚一折、白縮緬(〇)一反。桐淵道斎ヨリ菓子一箱。

\*すいとう(水飴) \*らむね(ラムネ) \*観を尽して(飲を尽して)

七月十七日 庚戌 日曜 晴。岩倉邸ヨリ応洋餐招、午下五時ヨリ。

三時後起。課行如例。揮毫ス。午下六時ヨリ岩倉邸ニ往、被饗晚餐。会席ニテ総テ結構、

調理法適口、星岡ノ製也。梭子様と相对閑話、八時を聞テ帰。此朝、千久、桃子と同しく、

上野列品場ニ行、又東明館ニ行、物品ヲ買得帰。

払方摘要 買物、六円。

姉小路良子ヨリ素緬一箱、酒二瓶。朽木鋪子ヨリ鶏卵一箱。

\*素緬(素麺)

七月十八日 辛亥 月曜 有客。

朝三時起。課業如例。揮毫法帖。午下、海田金子父来、金子ヲ拉而国ニ帰。

(来客) 海田金子父。

海田氏ヨリ鶏卵一箱。

品子満——今一周間。稲子満。

\*一周間(二週間)

七月十九日 壬子 火曜 土用入。晴。九十二度。有客。

朝四時起。課業如例。井上氏来、一宿。此日、大崎梅子、築井環帰国。目黒菅子と也。

(来客) 井上氏、山片菊、鶴来。

受方摘要 若松典侍より一円。糸桜内侍より一円。

井上氏ヨリ菓子一箱。山片菊より菓子一箱。片山鶴より氷二瓶。

園頼子一周間——。

\*片山(ママ) 鶴 \*氷(氷蜜) \*一周間

七月二十日 癸丑 水曜 土用二郎。晴。清暑。九十一度。有客。

午前十二時起。課業ス。又臥。四時起。此朝、愛治郎、井上氏、二番汽車ニテ横浜ニ行。

宮城御局え、暑中見舞として物品ヲ呈ス。紅梅典侍、新樹典侍、柳原早蕨権典侍、花松権

典侍、小菊権典侍、藤袴内侍、楓内侍、紅葉内侍、撫子内侍也。

(来客) 吉田久子、其母来。

吉田久子より菓子二箱。楓内侍より鼈甲菓子器、書翰箋箱入。

七月廿一日 甲寅 木曜 土用三郎。晴、夜雨。

朝三時前起。課業ス。

七月廿二日 乙卯 金曜 雨、晴雨不定。有客。

朝二時起。課行ス。時、大雨。此日、地藏祭ヲ執行ス。夕景ヨリ庭園中数灯樹々に掲ケ、

篝ヲ焼、庭中如昼。所々に床几ヲ置、名々盆ニテ供養ヲ出ス。生徒及来客、凡八十人也。

食事畢テ、芳村長唄ヲ演ス。又畢テ、スイトウ、及ラムネ、アンス水、レモナートヲ饗ス。

長唄三番也。生徒各尽観、来客人と共に室ニ帰。時、十時也。実ニ盛会也。

(来客) 牛込幸子母、山田富、芳村夫婦及菊来。

弘方摘要 吉村え一円。

中島千重よりさゝ波縮緬(〇)一反。三村松子より角砂糖箱入。牛込幸子より栗饅頭一箱。

山田富より砂糖一箱。芳村より菓子一箱。安田輝子より砂糖折。

\*名々(銘々) \*スイトウ(水飴) \*尽観(尽飲) \*吉村(芳村) \*さゝ波(細

波)

七月廿三日 丙辰 土曜 晴又雨。有客。

朝四時起。課行ス。此夕、拉栄、鶴等、姉邸二行。十時帰。此日ヲ以、夏期休業トス。

(来客) 橋本吉兵衛、同大吉、兒島細君、伊藤子之松来、山口稲子也。

受方摘要 石井初より五円。毛利式子より千疋。紅葉内侍より三百疋。

橋本氏ヨリ国産寐こさ七枚、はも干物。兒島氏ヨリ黒繻子帯地(〇)、砂糖折。

堀田善子より菓子折。押本鏡子より鶏卵一箱。川勝品子より帶留箱入。

\*国産寐こさ(国産寐莫莖)

七月廿四日 丁巳 日曜 晴雨不定。有客。

四時起。課業如例。午下、山口正定邸二行。此度、同嬢稲子、近日結婚ニ付、其祝として、松魚一箱、壁すきや一反を贈ル。両親ニも面会して帰。帰途、片岡氏え尋問ス。挙家大ニ喜ひ、君子出産之男兒、頗たくましく、実ニ健賢らしく候。良人静、輔子とも面晤ス。夕餐ヲ饗ス。食畢而帰。此留守、原富太郎氏来。

(来客) 森永琴、原富三郎。

受方摘要 園田銚子、一円。

山県松子より支那紹(〇)一疋。森永辰江より岩国ちゝみ(〇)一反。藤袴内侍さまより氷砂糖一箱、瀬戸物舟形佃煮入、八はし一箱。稲葉隆子より鶏卵一箱。前田亀子より菓子一折。北川貞子より香水箱入、匂ひ袋。西村喜三郎より紅白鳥の子餅、松魚。園田銚子より菓子折。

\*すきや(透綾) \*原富三郎(原富太郎) \*ちゝみ(縮) \*八はし(八橋)

七月廿五日 戊午 月曜 雨。有客。

朝四時起。課行、揮毫、十二時迄。閑院宮、広島久岡氏、京都大谷様、本所松前氏、岡田孝吉ニ書を寄ス。

(来客) 山口達子父。

山口達而より菓子一罐。二位御局よりキヤマン灯籠、うちわ七本。

川勝品子満。

七月廿六日 己未 火曜 半天。陰晴不定。有客。

午前二時起。課行ス。画揮毫、午下二時迄。大谷恒子君より文来。

(来客) 西村政子、島田信子、諸葛益子。

奥村八重より砂糖一箱。高岡みをより美濃紙一帖。稲垣銚子より懐中しるこ一箱。西村氏より京御召(〇)一反箱入。島田信子より衛生あめ一箱。諸葛より氷みつ三瓶。園頼子満、北川貞子、丸山昌子。

\*しるこ(汁粉) \*水みつ(水蜜)

七月廿七日 庚申 水曜 晴天。

朝三時前起。課行ス。及揮毫。七時より宗家東殿え暑中尋問ニ而、暫時信楽院様と閑談シテ去、田村氏ヲ問フ。是又暫時にして、小松宮邸ヲ尋問ス。畢而帰宅ス。時、十時前也。又揮毫ス。此朝、

よのまかをきよめの雨も打晴てすしく出る日の大御神と祈念いたし候。

受方摘要 紅梅典侍より、千疋。撫子内侍より、七百疋。新樹典侍より、五百疋。

坂東氏より、鶏卵一箱。安井氏より、うちわ三本。新樹典侍より、白絹ちゝみ切地、比異織煙草入。小菊典侍より白すきや(〇)一反。

\*まか(禍) \*白絹ちゝみ(白絹縮) \*比異織煙草(比翼織煙草) \*すきや(透綾)

七月廿八日 辛酉 木曜 晴天。有客。

朝四時起。課行ス。屏風揮毫ス。

(来客) 吉田丹治郎及庸子。

受方摘要 浜荻典侍より千疋。

伊集院より越の雪箱入。吉田庸子干菓子箱入。広田千代より洋菓子一箱。浜荻典侍より壁すきや(〇)一反。

\*すきや(透綾)

七月廿九日 壬戌 金曜 晴天。有客。

朝三時起。課行ス。揮毫ス。晚、姉邸ニ行。帰途、万里家ヲ問テ帰。

(来客) 田村長子及増子。

田村氏ヨリ、ラムネ十二瓶。さゝ波縮緬(〇)一反、車前掛一枚。

\*さゝ波(細波)

七月三十日 癸亥 土曜 晴、無風。有客。

朝五時起。課行ス。屏風揮毫ス。晚、桃子ト同シク、山田氏ヲ訪。又如約、森竹氏ヲ訪、逢晚餐饗、最西洋料理、頗美味。八時三十分、告暇而帰。夜、細雨。

(来客) 南条愛子、森竹時え、三橋淳。

森竹ヨリ菓子一折。南条氏ヨリ角砂糖一箱。宗家ヨリ砂糖一箱、小半紙二束、浅黄紋縮緬切地。

七月三十一日 甲子 日曜 半天。朝晴、午下雨。有客。

二時起、課行ス。屏風揮毫ス。

(来客) 万里直房。

三条西浜子より松魚一箱。

豊田氏 二週間 。

\*二週間(二週間)

(七月会計、記載ナシ)

(八月)

八月一日 乙丑 月曜 陰晴不定。有客。

朝四時起。課業如例。屏風揮毫。此朝、遠藤氏屏風探幽竜虎一双、探幽孔子春秋著述之図一双、光琳極彩色百花之図一双預り置。午下五時、藤袴内侍殿所勞二付、姉邸ニ御帰り相成、余、即時参殿ス。九時下り、帰宅ス。

(来客) 河鱒実文、別府徳子。

弘方摘要 田村氏え返済、百円。

別府徳子ヨリ風月堂一円券、団扇二握。藤袴内侍より水仙糯五巴。

\*五巴(五把)

八月二日 丙寅 火曜 晴。有客。

四時起。課業如例。屏風揮毫ス。晡時、余、千久、桃子ト同シク、姉邸ニ藤袴殿病ヲ訪フ。夜十時前帰宅ス。

(来客) 山本鶴子来。

中村元嘉ヨリ蒸菓子一折。山本鶴子より白砂糖。

八月三日 丁卯 水曜 晴又雨。有客。

朝四時起。余、桃子、稲子ト同シク、浅草観音ニ詣ス。五時過、帰宅。屏風揮毫ス。夜、若林演史ヲ聞。

(来客) 平尾竹子。

受方摘要 楊梅典侍より七百疋。園頼子より五百疋。

小松宮殿下より鯛、海老一箱。平尾竹子より衛生あめ一箱。

八月四日 戊辰 木曜 晴。

四時起。課業如例。屏風揮毫ス。午下五時過ヨリ小松若宮邸ニ詣ス。両殿下ニ謁ス。閑談已ニ而去、三条邸ニ詣ス。資君、富君様ト相對座シテ閑談ス。入夜、月尤妙。九時過去、

十時帰。

受方摘要 若松典侍、糸桜内侍、千疋。小松若宮、五百疋。  
小松若宮ヨリ西洋菓子一箱。大谷法主ヨリ団扇菓子箱入、夕風ト銘ク。

八月五日 己巳 金曜 晴。有客。

三時前起。課行如例。続テ屏風揮毫ス。晡時、桃子ト同しく、姉邸ニ藤袴様之病ヲ問フ。  
十時帰宅。此日、原氏ヨリ書至、即返書ス。

(来客) 万里小路為、及岡田金。

万里小路ヨリ葛素麵一重、氷みつ二瓶。岡田金ヨリ絹ハンカチ一タース箱入、うちわ四本、  
手拭三筋、帯とめ一筋。

\*氷みつ(氷蜜) \*一タース(一ダース)

八月六日 庚午 土曜 晴、夕、細雨、又晴。有客。

四時起。課行如例。屏風揮毫ス。晡時、万里家ヲ訪ヒ、暫時閑談して、藤袴殿ヲ姉邸ニ訪  
ヒ、十時去。

(来客) サンマルス母及両嬢来。

宗東殿より、カステイラ一箱、半切封筒。藤井よりのり入一束、ヒスケー一罐。北白川宮  
より、氷砂糖一箱、氷素麦三包。サンマルスヨリ角砂糖、洋酒四瓶。茂木氏ヨリ白縮緬

(〇) 一反箱入、及ちゝみ浴衣(〇) 一反、金玉糖一箱。

\*のり(糊) \*ヒスケー(ビスケー) \*氷素麦(氷蕎麦) \*ちゝみ浴衣(縮浴衣)

八月七日 辛未 日曜 晴雨不定、多晴。七十度。有客。

四時起。課行ス。

(来客) 万里通房伯、京都手柄氏来。

弘方摘要 愛治郎旅費、三十円。

酒井氏ヨリ菓子一折。

一月ヨリ反物四十二反、及帯二筋到来ス。

八月八日 壬申 月曜 晴。九十二度。有客。 伏見宮母君景子殿下薨去。

三時起。課業如例。愛治郎、千久子、小木曾氏、一番汽車ニテ日光え出立ス。

大塚陽子ヨリ菓子一箱、外ニ二袋。平井氏ヨリ洋酒二瓶。

此日、伊藤博文総理大臣ニ任せらる。

\*総理大臣(総理大臣)

八月九日 癸酉 火曜 晴。有客。

四時起、課業如例。此朝、山田氏ヲ訪ヒ、三条邸へ行。三田台町波江子ヲ訪テ帰。

(来客) 伊藤子之松来。  
下婢里より鶏一羽。

八月十日 甲戌 水曜 朝晴、午後雨。有客。  
三時起。課行ス。雨。四時、雨晴。五時ヨリ、桃子、稲子ト同シ(夕)、山田氏へ行。山片菊一宿ス。此夜九時、愛治郎、千久、小木曾、無事帰宅ス。此夕、高屋鱗帰校ス。

(来客) 山片菊来。  
弘方摘要 出、五円。

山片菊より菓子一箱。高屋ヨリ酢漬一瓶、梨子一盆。

八月十一日 乙亥 木曜 晴。

朝五時起。課業如例。此日、桃子、安田善治郎氏へ行。故ハ愛治郎日光へ行、安田氏之別荘借受候ニ付、其謝礼之為也。余、晡時、姉邸二行、九時帰。  
安田氏ヨリ杏漬物一箱。

八月十二日 丙子 金曜 晴。有客。

四時起。課業如例。山中健吉子、朝十一時之汽車ニテ、任地豊前小倉へ出立ス。終日揮毫ス。

(来客) 重威来。

八月十三日 丁丑 土曜 雨、朝ヨリ晴、午下四時頃、細雨来、忽チ晴。九十一度五部。

客来。

四時起。課業ス。屏風揮毫ス。

(来客) 橋本太吉。

豊田氏満。

\*九十一度五部(九十一度五分)

八月十四日 戊寅 日曜 晴。九十度。客来。

四時起。課業如例。屏風揮毫ス。此日、虫干ヲ執行ス。

(来客) 不破氏。

弘方摘要 表え三十円カス。

八月十五日 己卯 月曜 晴。九十二度。有珍客。

四時起。課業如例。泰、栄、鶴子ヲ拉テ墓参ス。金地十二折腰屏風落製ス。加茂富子、藤堂俊子使来。

(来客) 加茂富子。

藤堂俊子より本葛一箱。加茂富子より西洋西瓜二。

八月十六日 庚辰 火曜 晴。九十三度。有客。

二時起。課業ス。三時、子供等皆起。泰、栄、鶴等三人、各村里二行。田舎之盆会也。原善三郎氏え書ヲ寄ス。

(来客) 橋本氏来。

安田ふきより衛生あめ一箱。

八月十七日 辛巳 水曜 晴。九十一度。有客。

朝四時起。課業如例。晡時、姉邸二行、良子君を訪フ。暫して、九時帰。

(来客) 片岡君子、伊藤子之松。

弘方摘要 麿香代、三円。

受方摘要 四条家ヨリ三円。

四条家ヨリ鶏卵一箱。片岡氏ヨリ古唐墨一挺。

八月十八日 壬午 木曜 雨、朝細雨、已テ晴。九十一度。有客。

四時起。課業如例。此朝、子供等、從田里帰。原氏ヨリ返書至。山高氏え書ヲ寄ス。

(来客) 重威、及山本宜暄。

新場勝より鶏一羽、玉蜀黍十五本。石神井豊田より西瓜二箇。

\*山本宜暄(山本宜喚)

八月十九日 癸未 金曜 晴。夜小雷鳴。有客。

朝二時起。課業如例。四時ヨリ、桃子、稻子と同しく、山田氏ヲ訪フ。已而帰。此日、遠

藤義為来。

(来客) 遠藤氏。

下婢さとり玉蜀黍十五本。遠藤氏ヨリ岐阜美麗行灯一箇。

八月二十日 甲申 土曜 雨。朝、雨已而晴、夜、又十粒程雨、已而晴。先晴天ト云へし。

有珍客。

四時起。課業如例。朝、桃子ト同しく、田畑田村氏ヲ訪。夕景迄遊テ帰。

\*田畑(田端)

八月廿一日 乙酉 日曜 半天。雨。朝ヨリ晴天、昼後、雨一切り、已而晴。有客。

五時起。課業如例。

(来客) 久米節子。

久米節子より白立紹(〇)一反、西洋西瓜一箇。

\*切り(しきり)

八月廿二日 丙戌 月曜 晴。有客。  
四時起。課業如例。此日、往姉邸、良子殿ニ誥別シテ帰。  
(来客) 橋本吉兵衛、宮原六之助、遠藤義為、橋本太吉来。

八月廿三日 丁亥 火曜 晴、風。有客。

朝三時起。行装をなし、余、愛治郎、稲子ト同伴、一番汽車ニテ新橋発、山田氏之一行ト同道也。藤沢ニ着、握車ニテ江之島讚岐屋ニ着。昼餐を喫シテ、午下、詣弁天社。暑熱甚已而帰。讚岐屋ニ帰。晚、遊海辺、暫時ニして帰。夜十時、臥。此日、重威も同行、六時汽ニテ帰京ス。

稲垣銑子ヨリ菓子一箱。

\*汽(汽車)

八月廿四日 戊子 水曜 晴。熱甚、九十度以上。

五時起。朝餐後、一同、詣弁天社。さゝひやにて休憩ス。涼風爽快。学修院生徒遊泳ヲ觀ル、可言奇。巖弁天ニ詣ス。午前十時、帰旅館。

山口稲子ヨリ松魚一箱、鳥の子餅一重。

\*学修院(学習院)

八月廿五日 己丑 木曜 晴。熱甚、九十度以上。

五時起。皆行装ス。朝十時頃、発江島、到鎌倉角正、暫時休憩シテ、詣八幡宮而帰旅館。夜、又觀樂頗盛。十時臥。此日、重威、桃子来。又重威、六時汽車ニテ帰京ス。

八月廿六日 庚寅 金曜 晴。熱甚、九十度以上。

朝五時起。往於望夫石、散歩シテ帰。終日之快樂、不可言。夕景、月尤清。八幡宮社前橋上ニ納涼ス。荷花香可愛。夜、又同十時臥。

八月廿七日 辛卯 土曜 晴。鎌倉ヨリ大舟迄之中、雨、已而晴。熱甚、九十度以上。

朝五時起。行装ス。此時、従重威書至云、昨夜三時、宅蔵稻荷社、及越岡氏焼失ス。近火可驚。然ながら幸ニ無風。良子殿房州御見合ニ相成由申来。午下三時廿分發鎌倉汽車ニテ帰京ス。汽車中、雨。五時何分ニ新橋着。迎之人如山。山田氏へ行、暫時ニシテ、入夜、帰。

\*大舟(大船)

八月廿八日 壬辰 日曜 七月七日。雨晴不定。熱甚、九十度。有客。

朝三時後、起。五時、上野停車場二行。姉小路良子様、重威、及侍婢豊女、見赴松島。誥別シテ帰。此時、雨。

(来客) 伊藤子之松来。大坂辻末吉来。立花邦子より金山二疋、半紙二束。

八月廿九日 癸巳 月曜 晴。八十九度。有客。

朝五時起。課業如例。朝ヨリ、余、愛治郎、千久、桃子、稲子ト同シク、姉邸二行、暫シテ、山田氏、三島氏来。余等、昼飯ヲ喫して、午後五時帰。

(来客) 森竹時得、静江来。

受方摘要 愛治郎より返済ス、六十円。

森竹氏ヨリ美扇十二本入一箱。石山氏ヨリ長茄子。

八月三十日 甲午 火曜 晴。八十九度。

朝五時起。課業如例。六時過より、桃子と同しく、上野停車場二行。七時四十分汽車着、藤袴様、従行者、無事帰京。夫より姉邸迄送り、九時過、帰宅ス。

藤袴様より埋木盆、同茶台。

八月三十一日 乙未 水曜 二百十日、大無事。晴朗。有客。

朝四時起。課業如例。原信存如堂、昨午後八時死去、訃音来。

(来客) 福田嘉子母来、中瀬福、池田禄。

福田氏ヨリ梨子一籠。中瀬兩人より菓子一箱。

(八月會計、記載ナシ)

(九月)

九月一日 丙申 木曜 晴又雨。有客。

朝五時起。課業如例。朝より、錫子、鉄千代来。入夜、帰。此日、藤袴様御上りに付、使来。四時頃より姉邸二行。入夜、帰。

(来客) 古屋錫子、力雄児、及松野鉄千代来。さゝ木豊子。

払方摘要 絵島総会費、五円七十銭。

坂東錫子より氷砂糖一箱。松野鉄千代より梨子一籠。さゝ木豊子より砂糖一箱。藤袴様より白紹切地、中着三ツ、紙挟。

\*さゝ木豊子(佐々木豊子)

\*絵島(江島)

\*さゝ木豊子(佐々木豊子)

九月二日 丁酉 金曜 晴。有客。

四時起。課業如例。夕景より、余、愛治郎、桃子、稲子ト同しく、万里家ニ行。月色殊清。十時頃迄、觀月。先帰。

(来客) 山田氏来、午下、重威来。

昨明治廿四年、千代滝療病、往五軒町姉邸、手柄氏ノ診★(言十察)ニハ食道岳子ト云。

\*診★(言十察)(診察) \*岳(癩)

九月三日 戊戌 土曜 晴。夜、大雨如驟雨。有珍客。

四時起。課業如例。此夕、竹本東吉義太夫来、演語、さかろの松、朝兒日記。聴客左之如し。月清光、十一時、皆去。

(来客) 万里小路通房伯、為、栄、重威、初、竹本東吉。

弘方摘要 愛治郎え借ス、二十円。東吉え一円。

\*さかろの松(逆艦の松) \*借ス(貸す)

九月四日 己亥 日曜 晴又雨、南風暴模様、夜、大雨。有珍客。

五時起。課業如例。朝、稲子、大宮え出向ル。

(来客) 阿久津愛子、村上小枝子、重威。

弘方摘要 愛治郎え借ス、五十円。

阿久津より梨子沢山。村上より蒸菓子一重。

\*借ス(貸す)

九月五日 庚子 月曜 大雨大風、午下晴、夜、月殊清光。

五時起。課業如例。

九月六日 辛丑 火曜 雨。朝晴、九時頃大雨、一切にして晴。無客。

四時起。愛治郎、石神井村弘兒ヲ訪。余、千久、桃子ト同シク、京橋山田氏ヲ訪。夫ヨリ浅草觀音え神代ヲ勤ル。帰途、逢雨、帰。晡時、愛治郎、從石神井村、帰。弘兒無事也。夕、姉邸ニ行、暫時にして帰。

弘方摘要 江口氏え五円。

\*切(しきり)

九月七日 壬寅 水曜 雨。朝雨、已而晴。無客。

四時起。課業如例。揮毫。矢島悦子え画手本及清書出ス。

小松若宮より晒布(〇)一反。

九月八日 癸卯 木曜 晴。夜、細雨、一切ニテ晴、月尤清。有客。

五時起。課業如例。午下、往三条邸二行。資君様御不在ニテ、富子様二面晤ス。夕景、帰途、山田氏ヲ訪フ。

(来客) 此日、大塚豊子帰来。

大塚豊子より鶏卵一箱。

\*切(しきり) \*往(ママ)

九月九日 甲辰 金曜 晴、細雨、一切ニシテ晴。有客。氷川神社祭典。

早起。課業如例。此日、宮原氏と有約、玉川鮎漁ヲ欲試、從早朝所待、宮原氏遂ニ不来而止。

\*切(しきり)

九月十日 乙巳 土曜 晴、又雨、已而晴。有客。

五時起。課業如例。夕景、往万里氏え余、愛治郎、千久、桃子ト也。喫晚餐、十時、帰。

(来客) 伊藤子之松、森永辰江帰来、其母琴、重威也。

森永時江より、菓子一箱、鼈甲菓子器。玉椿内侍より鶏卵一箱。

北川貞子、丸山昌子、卒行。

九月十一日 丙午 日曜 晴。九十度。有客。盆草調。

五時起。課業如例。塾生三十人帰校ス。

(来客) 沢井石雲。

千世滝病、稍覚快。

受方摘要 田中政子より一円。

毛利万子より鶏卵一箱、菓子一箱。長倉菊より鮎一箱。森竹時得より白玉粉、菓子。安田

輝子より菓子一箱、柚餅。二位御局より塩原産大豆、蕨、椎茸、松魚。角田氏ヨリ蕨、細

工盆、及菓子器。千家より鶏卵一箱。加茂より菓子一箱。海田氏より菓子一箱、煙艸一箱。

山田欽子より角砂糖。

九月十二日 丁未 月曜 晴。九十度。有客。

四時起。課業如例。以此日、行授業始。朝八時ヨリ午後四時迄。木村高子、石橋君子入門。

(来客) 山田実依頼生徒来、米倉山子有入門。

中村敬子より菓子一箱。佐藤姑子より香魚二籠。中山正子より梨子沢山。南部美代のより

洋菓子一箱、帛紗一ツ、紙入一ツ。毛利式子より硯一面。米倉山子より菓子一箱、大橋煎

餅三袋。高梨兼子より菓子一罐。桜井吉子、同時子より洋菓子一箱。

山田欽子、川勝品子、一周間。

\*南部美代の(南部美代野) \*一周間(一週間)

九月十三日 戊申 火曜 晴、風、又細雨、時々暴風。夜十二時前、地震。有客。宗善性院一周年忌被招。

四時起。課業如例。遠藤氏、此日、夜汽車ニテ帰郷ス。松田馥、退校。

(来客) 西村菊子及其母、松田晋斎、遠藤氏、山本欽子。

遠藤氏ヨリ、組行灯、外ニ提灯ホヤ三ツ。松田氏ヨリ、羊羹一箱。石橋君子ヨリ、カステイラ一箱。五十嵐駒子ヨリ弁松料理一箱。西村菊子ヨリ鼠縮緬大巾五尺、梨子。池田愛子ヨリ栗一箱。山本欽子ヨリ素麺一箱。宗様ヨリ蒸菓子一折。

\*ホヤ(火屋)

九月十四日 己酉 水曜 晴、有風。九十二度。有客。山田氏被招。

四時起。課行如例。午前、岩邸二行、教授シテ帰。

(来客) 広田妻。

広田氏ヨリ砂糖葛一箱、羊羹三棹。池田孝子ヨリ懷中汁粉一箱。中島千重ヨリ梨子。

岩倉梭子、稽古始。広田千代子、九月三十日迄。渡辺千夏、九月三十日迄。

弘方摘要 宝前え二十銭。

九月十五日 庚戌 木曜 晴。九十度。有客。

三時前二起。課行如例。午前、姉邸二行。入夜、帰。

(来客) 牛込幸子、其母、岩浪稲子。

下婢里ヨリ栗一盆。岩浪稲子ヨリ葡萄一盆。牛込幸子ヨリ、カル、ス煎餅一罐。

九月十六日 辛亥 金曜 晴。有客。

四時起。課行。松野氏、此度、宇都宮裁判所長に任せられ候ニ付、其暇乞ニ来られ候。鉄千代、此夜、廿六夜待ニ誘引之筈、曇天にて止、一宿。山中健吉ヨリ訃音至、父八日死去。

(来客) 松の篤蔵、鉄千代。

稲垣銑子ヨリ、あらめ沢に、檜子一籠。松の鉄千代ヨリ、さらしな蕎麦。

江副静子、一周間。水縁真如、一周間。

\*松の篤蔵(松野篤蔵) \*あらめ沢に(あらめ沢煮) \*松の鉄千代(松野鉄千代)

\*一周間(一週間) \*一周間(一週間)

九月十七日 壬子 土曜 晴。八十八度。有客。

四時起。課行。此日、日下吉雄妹入塾ス。石井初帰塾ス。鉄千代、十二時去。

(来客) 中村太郎、石田、石井初子、其母安子。

石井初子ヨリ、ビスケート一罐。

九月十八日 癸丑 日曜 晴。八十九度。有客。

四時起。課行ス。終日、法帖揮毫ス。晡時、過姉邸、九時帰。

(来客) 加茂玉江婦校。

石神井豊田より栗一籠。

山田欽子、川勝品子、成就。

九月十九日 甲寅 月曜 彼岸入。雨。七十度。

四時起。課行ス。此日、冷気七十度、皆綿入羽織ヲ披、実頓涼如夢。始夜課、九時畢。

世の中の替りやすきそみせたりきゆふへの暑さ今朝の寒さに

角田千重子、一周間。

\*一周間(一週間)

九月二十日 乙卯 火曜 雨、終日雨続。六十四度。有客。

五時起。課業如例。終日、法帖揮毫。

(来客) 原如堂妻、及松来。

九月廿一日 丙辰 水曜 終日雨。六十五度

五時起。課業如例。午下、松野氏ヲ訪。松野鉄鉄千代、黒田藩士松原氏ト縁段相齊、昨廿

日結納取替相済由承知ス。夫より岩倉邸ニテ教授シテ、山田氏ヲ訪。松野氏之縁段ヲ伺フ

処、下々之下也。已而帰。

払方摘要 散銭、五銭。車夫え廿銭。

\*松野鉄(鉄(衍))千代 \*縁段(縁談) \*縁段(縁談)

九月廿二日 丁巳 木曜 雨。六十五度。(有)客。

五時起。課業如例。秋季皇霊祭、休業。

(来客) 佐藤利尾子帰校ス、河内国。

受方摘要 会計より五十円返ル。愛治郎より廿円返ル。佐藤利尾より三円。

牛込幸子より焼物鯛、海老一籠。佐藤利尾より鶏卵一箱。

江副静子満。水園真如満。

九月廿三日 戊午 金曜

四時起。課行ス。

森永琴より海苔鐘詰。角田栄子より梨子一籠。竜吉より栗一盆。

九月廿四日 土曜 晴。有客。

四時起。課行ス。此朝、重威使来。治子産氣付候ニ付、早々御来車願来。直ニ往姉邸、産

婆も昨夜ヨリ来居候。治子稍産氣も治り、先今晚か明朝らしく由、産婆申居り、此夜一宿ス。

朝兒

千代経へく竹の籬にはひよりに盛り久しき朝兒の花

千々に咲そふ朝かほの花

石田常子より、衛生飴一箱。

九月廿五日 己未 日曜 晴。有客。

四時起。課行ス。朝八時、従姉邸帰来。午下、千久、桃子、山田氏之行。此朝、愛治郎、泰、石神井村弘児ヲ訪フ。皆留守中。宮原六之助子来。千久、桃子、五時帰来。夫より明神開花楼ニ喫晩餐而帰。宮原氏、直ニ横浜へ帰ル。

(来客) 宮原六之助。

千世滝病全快、従姉邸帰来。

いとより豆沢山。

角田千重子満。

九月廿六日 庚申 月曜 曇。有客。

四時起。課行ス。午時、伊藤氏来。此晚、往姉邸。時、已近辺第六天火、躁然。九時帰。

(来客) 伊藤子之松。

伊藤氏ヨリ薑沢山。

\*第(大(衍))六

九月廿七日 辛酉 火曜 午下雨、此夜豪雨。有客。

四時起。課業ス。朝、往姉邸。此時、山田氏来ル。十時後帰。

(来客) 山口使お今来。

山口とめより白縮緬へ〇〇一反。

九月廿八日 壬戌 水曜 雨。夜出産之頃、雨晴、已而又雨。

五時起。課業如例。午下、会于貴婦人会。晡時帰。夜七時頃、従姉邸使来、迎余。余、即命車行。産催し有。十一時二十分、男子分娩、母子共頗壯健也。其歎無極。産氣ハ一時間余也。

弘方摘要 小栗栖師え五十錢。大如来開帳、五十錢。貴婦人会散錢、二十錢。

九月廿九日 癸亥 木曜 朝大雨、終日雨、入夜、月始清。

朝七時帰。課行ス。

石田常子より氷砂糖二罐。

九月三十日 甲子 金曜 晴。無客。

五時起。課行ス。午下、訪三条邸。資君様、明日西京え、故内府様之御法会執行被遊候ニ付、一日夜汽車ニテ御出發也。御暇乞ニ参上、暫時閑談。已而帰、訪姉邸。稲子先在、通夜ス。

広田千代子済、渡辺千夏済。

(九月會計、記載ナシ)

(十月)

十月一日 乙丑 土曜 晴

朝、従姉邸帰、課行如例。

伊集院幸子二七日、佐藤利尾子、角田智恵子、山田欽子、園頼子、石井初子。

十月二日 丙寅 日曜 晴。有客。

五時起。課行如例。石橋君子入塾ス。弘、従村里帰来。午下、原氏来。余、愛治郎、泰ト同シク、車ニテ上野之秋景ヲ逍遙ス。於無極庵、喫晚餐而、原氏と誥別シテ帰。直、訪姉邸一宿ス。

(来客) 佐野信子、齋藤知賀子、其母、原富太郎。

齋藤知賀子母より蒸菓子一箱、**五家棒**三包、帯地 $\langle$ 〇 $\rangle$ 一筋、すもし四重。江沢房子より南部鉄瓶箱入。**弘カ**、より栗、芋。

\*五家棒(五家宝) \*弘カ、(弘囃)

十月三日 丁卯 月曜 晴。無客。

朝、従姉邸帰。課業如例。

齋藤仁子より香魚三籠。

十月四日 戊辰 火曜 晴、月如白昼。有客。

四時起。課業如例。晚、往姉邸、一宿ス。

(来客) 井上泰蔵、越岡。

石神井村豊田市より栗、芋。

十月五日 己巳 水曜 晴。八月十五夜、月殊清光。有客。

朝、帰宅ス。課行如例。午下、閑院宮殿下に参り、画の教授ス。去テ、往岩倉邸、又教授して、帰途、山田氏え行。此一周間中、有慶事。此夜二時、角田氏より使来、真平之母死去ニ付、四三子、千重子迎來。

よの中のみりなき代そしられける今宵最中の月を見てしも

(来客) 松平頼子。

弘方摘要 宝前、二十錢。

千世滝、往姉邸養生。

松平頼子より菓子一箱。閑院宮ヨリ八丈(〇)一反。

\*一周間(一週間)

十月六日 庚午 木曜 晴。夜、月清光。有客。

五時起。課行ス。午下、揮毫。伊吹竜江帰塾ス。午下五時頃、宮原氏来。八日、愈米国え出帆之由、暇乞ニ來ル。設別杯、夜九時迄雑談、笑声不止、誥別而帰。

(来客) 菊池熊太郎、沢宣種。宮原氏。

伊吹氏ヨリ、フランネル(〇)一反、前田梅子より梨子一籠。

余の行道を

宵の間は曇るとみしも月影の高くなるまに晴渡りけり

受方摘要 伊吹氏ヨリ五円。

十月七日 辛未 金曜 晴。有客。

四時起。課行ス。時、残月如鏡。山口とめ使お今来。金地地袋袋戸棚、合六枚画成、持帰ル。

(来客) 築井千代司、環、及吉村来。

築井より鶏卵一箱。山口とめより、ソセイジ二罐。園頼子より大鯛一尾、キス五十尾。

十月八日 壬申 土曜 晴又雨。有客。

四時起。課行ス。午下、拉鶴子、訪姉邸。晡時帰。大崎梅子帰塾ス。井田鉄子退校ス。

(来客) 井田鉄子。

受方摘要 井田氏より、二円五十錢。

弘方摘要 車代、五錢。

大崎氏ヨリ埋木盆、仙台産筆数本。井田氏ヨリ菓子一箱。

十月九日 癸酉 日曜 雨。有客。

四時起。課行ス。終日、揮毫ス。佐久間泰、鈴木氏ニ嫁ス。此兄片岡昇一氏、娘入塾ヲ願來ル。滝川氏、栃木県ニ行ニ付、解雇ス。

(来客) 片岡昇一入塾願出ル、滝川氏。

十月十日 甲戌 月曜 雨。無客。  
四時起。課行ス。二尺五寸巾絹本豎物山水二葉揮毫ス。五十嵐駒子之祖母死去、訃音来。  
昨九日午後六時也。

十月十一日 乙亥 火曜 雨、午後晴。無客。  
四時起。課行ス。揮毫法帖及絹本横物秋菊之図。  
山県氏ヨリ松茸一籠。

十月十二日 丙子 水曜 雨、午後晴又雨。有客。

四時起。課行ス。午下、訪田村氏、過岩倉邸、教授シテ、帰途、訪山田氏、帰。夜、雨中、  
沢宣種来。当時貧困之状ヲ聴、惘然之至、愛治郎、糸織綿入羽織、余、金五円ヲ恵む。憾  
泣して帰。

(来客) 堀内花子、沢宣種。

弘方摘要 宝前え廿錢。車夫え心付、廿錢。沢宣種え五円。

堀内花子より朝鮮飴一箱、松茸、昆布。

\*憾泣(感泣)

十月十三日 丁丑 木曜 晴、朝雨、午下晴、有風。七十九度。有客。

四時起。課業如例。絹本三枚落成ス。晡時、拉栄子、訪姉邸、入夜、帰。滝川重太郎え餞  
別、八丈一反ヲ贈ル。

三条資君様ヨリ色昆布一箱、袱子一ツ、杯一箇、中山孝丸より、松茸一籠、石山家ヨリ、  
小芋。

十月十四日 戊寅 金曜 晴。七十九度。有客。

四時起。課行ス。

(来客) 大塚豊子伯父来。

津田屋より松茸。

伊集院幸満。

十月十五日 己卯 土曜 晴。来客。

四時起。課行如例。朝、拉鶴子、墓参ス。午下四時頃ヨリ、拉栄子、訪姉邸、来。伊集院  
ヨリ、幸子趣快方由、申来。伊藤子之松えフランネル一反ヲ贈ル。

(来客) 滝川重太郎来、伊藤子之松来。

伊集院幸子、今月中。

十月十六日 庚辰 日曜 晴。有客。

四時起。課行ス。朝九時、乗汽車、横浜茂木氏ヲ訪、喫昼餐。栄子妊娠、盤田帯之祝済と云、可喜。訪原氏、暫時ニシテ、余、富太郎、安子、善一郎児ヲ拉シテ、三ノ谷別墅ニ往。山水皆秋色、命船垂釣。カレイ、蠟、ネヅなど數十ヲ得、興無限。帰塾、直ニ塩焼、揚物などにして、頗美味。日暮而又弁天通ニ帰り、晚餐佳味ヲ食シ、七時誥別、又加奈川山口氏ヲ訪。久々にて、挙家之喜、無限、十一時頃迄、談話シテ臥。雨切、折々大雨傾盆。佐久間隆子入塾ス。

(来客) 佐久間隆子及其母来。

払方摘要 汽車代、車代、五十銭。

佐久間隆子より菓子一箱。

\*盤田帯(磐田帯) \*別墅(別墅) \*蠟(ママ) \*帰塾(帰塾) \*加奈川(神奈川) \*切(しきり)

十月十七日 辛巳 月曜 晴。有客。

朝六時起。雨全霽、如拭。朝飯後八時、乗汽車、帰。目黒菅子帰塾ス。広田千代子本服祝来。岩浪子帰塾ス。山口とめ使今女来、持画帰。絹地五枚大画箋四枚、桃子揮毫之分也。(来客) 山本久子。

山本久子よりカル、ス煎餅一籠。目黒菅子より真綿一束。毛利万子より栗一籠。二位御局より松茸一籠。谷菅子より松茸一箱。広田氏ヨリ鳥の子餅一箱、松魚一箱。三条家波江より鼠縮緬帛紗地、封筒。

\*大画箋(大画箋)

十月十八日 壬午 火曜 雨、終日。有客。

四時起。課行ス。人見息治郎来。此度、算術教員ニ雇入ル。

(来客) 人見忠治郎。

稲垣銑子より鶏卵一箱、粕庭羅一箱。

\*人見息治郎(人見忠治郎) \*粕庭羅(カステイラ)

十月十九日 癸未 水曜 晴。有客。

四時起。課行ス。此朝、飯中、桃子より告来、塾ハシゴ段之下ニ賊入、長沢栄子簞子、三引出し不残ト北川貞子羽織袷物四品、持帰ル。高屋隣通常着袷も也。午下二時前ヨリ岩倉邸ニ行、教授して帰り途、訪姉邸而帰。遠藤よし為来。此日午下二時頃、中之口よりコソ賊窃盗入、北川貞子かた懸、持逃ル。福田洋子入学ス。

(来客) 山田氏、遠藤氏。

受方摘要 田中駒子、五百疋。

遠藤氏より美濃紙十帖。岩倉梭子より松茸一籠。

\*簞子(簞笥)

十月二十日 甲申 木曜 晴。有客。  
四時起。課行ス。松平鞆子来、画揮毫ス。午下四時過より、余、千久、桃子、稻と同しく、山田氏え行。跡見重孝児礼教也。済て、九時帰。  
(来客) 松平鞆子。

十月廿一日 乙酉 金曜 朝ヨリ晴、入夜、雨。有客。 主上行幸大演習、宇都宮御駐  
輦。

五時起。課行ス。午下、松平鞆子来。絹本彩色物揮毫シテ帰。田村増子来。鈴木孝太郎子、  
学校參觀ス。南条文雄師来。晡時、同桃子、訪姉邸。帰途、訪万里氏。

(来客) 小林茂子母来。  
小林茂子母より黄金滝一箱。南条氏ヨリ松茸。田村増子より美麗香水入一箱。

十月廿二日 丙戌 土曜 雨。有客。

五時前起。課行ス。此日、腹痛、半日臥。  
石神井市蔵より雉子一羽。

十月廿三日 丁亥 日曜 雨。有客。

朝六時起。課行。  
(来客) 重威来。  
森永琴より樽柿。

十月廿四日 戊子 月曜 晴。朝雨、午後全晴。無客。

五時起。課行如例。  
濃州青木久兵衛ヨリ松茸二籠。

十月廿五日 己丑 火曜 晴。快晴如春。有客。

五時起。課行如例。井上氏来、話旧、遂一宿。  
(来客) 井上市兵衛、重威来。

齋藤知香子、松茸、及粕庭羅一箱。井上氏ヨリ菓子一箱。新場ババヨリ柿、栗。

\*粕庭羅(カステイラ) \*ババ(婆)

十月廿六日 庚寅 水曜 晴。有客。

五時起。課行如例。午下、岩倉邸二行、教授シテ去、三条邸二行、資君ノ方と暫時閑談シ  
テ去。帰途、山田氏ヲ訪、日暮帰。井上氏、七時ノ汽車ニテ帰。

受方摘要 西村菊より一円。  
弘方摘要 宝前え二十銭。

十月廿七日 辛卯 木曜 晴。来客。  
五時起。課業如例。午下、訪姉邸、入夜、帰。辻久米吉妹女来、入学願出ル。  
(来客) 重威、及辻久米吉妹。  
受方摘要 松平靱子より五百疋。千種任子より五百疋。  
松平靱子より鶏卵一箱。

十月廿八日 壬辰 金曜 晴。有客。  
四時起。課行如例。午下、浅草観音え参詣ス。又貴婦人会ニ会ス。畢而帰。時、日暮也。  
跡見重孝より松魚一箱、むし物一重。  
弘方摘要 御備え十銭。

十月廿九日 癸巳 土曜 雨。姉伯送別会、星岡茶寮ニ執行ス。  
五時起。課行如例。

十月三十日 甲午 日曜 晴。有客。  
五時起。課行如例。此日、跡見重孝、土神詣ニ付、始テ来ル。午下、余、千久、桃子、稻子ト同シク、応招、姉邸ニ至ル。宮参り祝宴ニ付、**吉村ノ長唱**数番アリ。盛会也。時、七時頃、近辺火。九時前、皆帰。月又清光。

跡見重孝より、あめ廿袋。加茂巖、葡萄酒二瓶  
\*吉村(芳村) \*長唱(長唄)

十月三十一日 乙未 月曜 晴、夜大雨。有客。  
五時起。課業如例。  
広田千代子より鯉魚三尾。  
伊集院幸子満。

(十月会計、記載ナシ)

(十一月)

十一月一日 丙申 火曜 晴。有客。  
四時起。課行如例。午下、山田氏来ル。晡時、訪姉邸、泰児と同道ス。夜、月清光如昼。

乗月影、帰。辻愛子入塾ス。

(来客) 山田氏。

辻愛子よりハンカチフ一箇。

十一月二日 丁酉 水曜 旧九月十三日、後観月、如昼。晴。有客。

四時起。課行如例。愛治郎、千久子、泰児ト、一番汽車ニテ**絵島**ニ出行ス。広田千代、通学願出ル。余、午下、往戸田邸、夫人ニ面談ス。三嬢之教授ヲ依頼せらル。已而帰。田村氏ヲ訪、又去而。閑院宮邸ニ詣ス。御息所と暫時談語シテ去。又加茂氏、及姉邸ヲ訪テ帰。近藤真鋤死去訃音来。即、金五百疋**贈**ヲ贈ル。**石石氏**差遣ス。

(来客) 広田千代、及母来。

広田千代子より葡萄酒三瓶。伊吹竜江より柿、柑。閑院宮御息所より鎌倉盆一箇。

\***絵島**(江島) \***贈**(衍) \***石**(石(ママ))氏

十一月三日 戊戌 木曜 晴。有客。

四時起。課行ス。俄然、天長節ヲ祝する為メ園遊会ヲ設ル。庭樹所々紅灯ヲ掲ケ、樹林中ニ茶亭又ハ**几床**、休憩所ヲ置き、茶席え生花数器ヲ並へ、布氈。午後二時より、生徒一同集会、和琴 長沢栄子、**築紫琴**松本竹、北川貞子。君か代の唱歌ヲ唱ふ。串団子或ハ**酔し**饗ス。歌舞音曲数番、高梨兼子、松本竹子、海田重子演舞。此時、山片菊も来。実ニ天氣晴朗、盛会也。点灯之時、全畢。月尤清光、如鏡。此夜、神田猿樂町火。

**酔数**三百箇、団子二百串。

(来客) 山形菊来、一宿。

岩浪稲子より鳴門すし一箱。

\***几床**(床几) \***築紫琴**(筑紫琴) \***酔し**(鮓) \***酔数**(鮓数)

十一月四日 己亥 金曜 此夜十二時後、**月食替既**。晴。有客。

五時起。課行ス。

(来客) 広田千代母、及重威来。

安田善治郎より葡萄一籠。

\***月食替既**(月食皆既)

十一月五日 庚子 土曜 晴。有客。

四時起。課行ス。此朝六時、余、稲子と同しく、新橋停車場に到ル。此時、重威同行之筈にて来ル。**絵島**二番汽車之**はつ**、二番ハなし、一時間待合せるよりも横浜え可到と相談一決して、七時汽車にて発ス。原氏松山別荘え行、茶一碗一休憩シテ、直ニ停車場ニ至リ、東京三番汽車ニ乗して藤沢ニ到ル。此日、天朗にして、所々山々秋色を帯、此絶景を友として直ニ藤沢ニ着。乗握車テ**絵島**え到ル。会員一同喜悅ス。暫時にして天降雨。如約、昼

早々、愛治郎、千久子交替ス。鎌倉二向、出発ス。雨切、夜八時頃、天全晴、月尤清。  
弘方摘要 井上氏え土産、一円

\*絵島(江島) \*はつ(筈) \*絵島(江島) \*切(しきり)

十一月六日 辛丑 日曜 晴朗。

朝五時起。朝餐後、一同弁才天女え参詣ス。天朗、海面如鏡。此絶景ニ觀賞不止、已而帰。旅館昼餐後早々、**絵島**出発、鎌倉対鶴楼ニ着。一同八幡宮ニ参拝ス。畢而帰旅館。余重威、泰、**吉村**と同じく、鎌倉宮ニ詣ス。懐古之情不堪、**涙惨然**。夫ヨリ、所々名迹ヲ尋ね、点灯頃、帰館ス。此時、雨一切、交雷、已而晴。夜十一時、臥。  
石井初子より菓子一箱。辻愛子より、ラツキヨ漬一瓶。

\*絵島(江島) \*吉村(芳村) \*涙惨然(涙漣然) \*切(しきり)

十一月七日 壬寅 月曜 晴朗。

朝五時起。此日、帰京準備。午後三時二十六分鎌倉汽車ニ乗テ、五時、新橋着。宝前ニ参拝ス。畢而帰。愛治郎、桃子迎來。

十一月八日 癸卯 火曜 朝、晴。有來客。姉伯独乙え出発ス。

朝五時起。課行如例。午下早々閑院宮邸ニ詣ス。教授ス。此時、小松宮八重子君來訪。暫時談話、四時去。訪五軒町而、帰。

弘方摘要 山田氏え四円。

閑院宮より、すもし一重。

十一月九日 甲辰 水曜 晴。

朝五時起。課業如例。午下、往戸田邸、三嬢ニ書之教授ヲシテ、直ニ岩倉邸ニ行、教授シテ、山田氏ヲ訪テ帰。夜、揮毫ス。九時迄。

弘方摘要 宝前え廿錢。

十一月十日 乙巳 木曜 陰晴不定、時々雨。有客。

朝五時起。課行如例。高鹿尹子帰塾ス。

(來客) 野口小蘋來、重威來。

弘方摘要 新橋より藤沢、汽車及握車、外ニ買物費、一円六十錢。錢まき、一円。

下婢さとり柿數十。池田愛子より稲荷すし一重。田村増子より**萩のもち**一重。森永時江より鶏卵一箱。**高麗尹子**より葡萄酒二瓶。

\*萩のもち(萩の餅) \*高(麗(ママ))尹子

十一月十一 丙午 日 金曜 雨。

朝五時起。課行如例。

弘方摘要 神代費、三円四十五銭。

齋藤智賀より五家棒十包。

\*五家棒(五家宝)

十一月十二日 丁未 土曜 半天。有客。

朝五時起。課業如例。小松宮殿下より三島別荘へ御誘引仰付られ候。

(来客) 今井氏、其娘来。重威来。

今井孫市より白紬(〇)一反、越の雪一箱。石神井高橋より鏡餅一重。岡田金より五七日志、縮緬帛紗、菓子一箱、茶。

十一月十三日 戊申 日曜 半天。無客。

朝五時起。課行如例。七時後より、余、愛治郎、桃子、稻子、歩往上野停車場、八時五十分發乗汽車。此時、重威、及吉村先在、同行ス。赤羽ニ着。夫ヨリ川口善光寺ニ神代ヲ勤ム。畢而又赤羽汽車ニ乗シ、王子ニ着。歩、稻荷神社ニ神代ス。又滝川紅葉ヲ見る。実ニ楓樹之盛、可驚。紅葉、先半染也。本月下旬盛なりと云。暫時、茶亭ニ憩、賞霜楓而歸。時、晡時也。

下婢浜子、粕庭羅一箱。

\*粕庭羅(カステイラ)

十一月十四日 己酉 月曜 晴。有客。

朝五時半起。課業如例。此日、齋藤仁子、及出生の兒良輔子来。久々之談語、入夜八時過、帰。

齋藤仁子より蒸菓子二重、酢もし二重、帯あけ一箇。

十一月十五日 庚戌 火曜 終日、雨切。有客。

朝五時起。課行如例。午下、閑院宮邸ニ詣ス。教授して去。今井種子、入塾ス。此日、弘兒帶祝ニテ、午下祝宴ヲ設ク。宴畢而生徒一同ヲ招き、遊戲ス。八時全畢。

\*切(しきり)

十一月十六日 辛亥 水曜 晴。

朝四時過より起。課業如例。此朝、余、愛治郎、弘ヲ連て、氷川神社ニ參詣ス、已而歸。午下、弘兒村里ニ帰。余、戸田邸ニ教授して、岩倉邸ニ行、教授して、山田氏ヲ訪而歸。戸田伯より御所柿一籠。

十一月十七日 壬子 木曜 晴。有客。

朝五時半起。課業如例。此朝、齋藤仁子来。午下、植物園霜葉ヲ觀ル。園中錦繡奇絶、以此日、尤盛ト云。入塾、磐井孝。入門、宮田某。

(来客) 盤井孝、其母来。

齋藤仁子より美柑、柿。

\* 盤井孝 (磐井孝) \* 美柑 (蜜柑)

十一月十八日 癸丑 金曜 雨、終日切。有客。

朝五時起。課業如例。

(来客) 佐々木豊子、肇児と来。

佐々木豊子より蒸菓子一箱。

受方摘要 佐々木豊子より一円五十錢。

弘方摘要 川口神代兩人分、二円。

\* 切 (しきり)

十一月十九日 甲寅 土曜 晴。有客。毛利公爵園游会、午後三時。

朝五時起。課行如例。午下二時より、同桃子、往毛利邸。公爵及令夫人、御子息六郎子、引余等、逍遙園中。霜葉十分秋ヲ呈シ、実ニ名園幽雅堪觀賞、園中大樹紅葉之樹間ニ陸軍有樂隊、又遊戯所、手品及英人ブラツク有落語、又一大立食所、及処々茶亭ヲ設ケ、入夜、数千掲紅灯、篝火或ハ高張ヲ立、又面目ヲ更メ、食事畢而余等御坐敷ニテ又見饗晚餐、畢而、帰ル。此日、会者千人余。山口藩出身之輩のみ。

(来客) 池田愛子母来。

池田愛子より朝鮮織物〇〇一巻、子供えかんさし二箱。

\* かんさし (簪)

十一月二十日 乙卯 日曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。午下、重威、治子、重孝来。晡時去。

築井親戚より菓子一箱。重威より、すもし一箱。毛利公より鼠縮緬、及帶留。

十一月廿一日 丙辰 月曜 晴。

朝五時起。課行如例。

受方摘要 小林茂子ノ伯父より、二円。

千世滝、此日晡時、急病ニテ使来、如飛趨車行、漸ヒラキ附テ、此日ヨリ絶食、湯水モ不通、一周間。

\* 一周間 (一週間)

十一月廿二日 丁巳 火曜 晴。

朝五時起。課業如例。午下、詣閑院宮、教授ス。此時、三条資子君御來臨、御酒肴陪食ス。已而去。植物御苑之御庭園ノ霜葉ヲ觀拜ス。斜陽帶紅葉、水声淙々、実如仙郷。又去、訪姉邸、帰。

十一月廿三日 戊午 水曜 新嘗祭。晴。

朝五時起。課行如例。午下、訪九条家、一位様、新嘗祭大典ニテ御不在。中川、及續子姫ニ面ス。殿中所々物見ス。酒肴ヲ賜フ。三時帰ル。帰途、南条氏ヲ訪テ帰。

十一月廿四日 己未 木曜 終日雨、及交風、晡時、晴。

朝五時半起。課業如例。

十一月廿五日 庚申 金曜 晴。有客。

朝五時起。課行如例。

(来客) 重威来。

田村増子より、絹の半カチ六ツ入一箱。

\*半カチ (ハンカチ)

十一月廿六日 辛酉 土曜 晴。三十九度。霜如雪、始結氷、霜柱三寸。有客。

朝五時起。課行如例。午下、余、愛治郎、泰ト同ク、団子坂辺逍遙して、四時帰。此日、

久米節子、小兒町世、同道ス。夜帰。

(来客) 重威来。

久米節子より幽染縮緬へ〇〇一反。

\*幽染縮緬 (友禅縮緬)

十一月廿七日 壬戌 日曜 晴。有客。

朝五時半起。課業如例。午下早々、余、桃子、伊吹竜江ト同道ニテ、浅草觀世音え参詣シテ、別院ニ参詣ス。御退夜御経ニ逢。途中去テ、又京橋山田氏ヲ訪。夜八時帰。

(来客) 角田栄子、重威来。

弘方摘要 宝前え廿銭。御講備物、一円。

伊藤大臣遭難、小松八重子殿下ノ馬車ト衝突。

角田栄子より佐土焼茶碗五箱入。江副米子より鴨一番。

千世滝、此日、姉、ヲモ湯始メ(テ) 通ス。皆ノ悦無限。雖然、衰弱甚、又薬湯一切不通。

\*ヲモ湯 (重湯)

十一月廿八日 癸亥 月曜 有客。晴。

朝五時起。課業如例。此日午下早々、愛治郎、千久、桃子、品川ニ松島艦ヲ觀ル。夜九時  
帰。

(来客) 重威、及今井孫一郎、江副妻。  
今井氏ヨリ菓子一箱。江副妻より菓子一箱。下婢糸より豆五袋。

十一月廿九日 甲子 火曜 晴。 議會開院式執行日。

朝五時起。課業如例。午下、閑院宮ニ詣シ、教授シテ、帰途、渡辺石重丸氏ヲ訪。暫時閑  
談シテ帰。

\*渡辺石重丸氏(渡辺重石丸氏)

十一月三十日 乙丑 水曜 晴。朝、三十八度。霜如雪。

朝五時起。此時、麴町辺火。課行如例。午下、戸田家、及岩倉邸ニテ教授。畢而山田氏ヲ  
訪テ帰。

千世滝、此日午後十二時後二時、往生ス。

(十一月會計、記載ナシ)

(十二月)

十二月一日 丙寅 木曜 晴、実晴朗無風。有客。 千世滝一周忌祭日。

朝五時起。課行如例。朝、山田君被来、余等、九時、伝通院ニ参詣ス。十時、於本堂読経、  
増呂十二人。十一時、法会全畢、墓参ス。十二時、姉邸ニ行、来客一同え午餐ヲ饗ス。三  
時、全畢。此時、木津唯専寺跡見法城来。来客皆帰。又生徒等十二人、饗晚餐、畢而、  
夜、皆拉帰。法会盛也。

(来客) 跡見法城滞在ス、松野鉄千代一宿ス。

\*増呂(僧侶)

十二月二日 丁卯 金曜 晴。有客。

五時起。課行如例。午下、愛治郎、法城子ヲ連テ、上野辺逍遙ス。余、稲子、鉄千代ト同  
シク、山田氏ヲ訪、夜、御法座聴聞ス。乗月、帰。

弘方摘要 御宝前、一円。同、五十錢。

跡見法城より、蒲鋒一箱、半襟一箱。

十二月三日 戊辰 土曜 晴。有客。

六時起。課行如例。愛治郎、法城ヲ拉テ、浅草辺見物ス。余、訪姉邸、夜帰。

(来客) 佐久間隆子父来。  
受方摘要 佐久間氏より、一円。

十二月四日 己巳 日曜 晴。有客。

六時起。課行如例。此日、九条家より、九日、西法主先尊君ト岩倉梭子君ト余ヲ紹待シテ、親しく交誼ヲ結はせられ度由也。

(来客) 重威来、九条家中川来。

\*紹待(招待)

十二月五日 庚午 月曜 晴。

朝五時起。課行如例。此日、法城、朝十一時四十分汽車ニテ帰坂ス。五十嵐駒子帰来。

千世滝葬送ス。其行装ノ盛、実未曾有也。天気晴朗。

五十嵐より弁松料理一桶。

菊野成仏徳立百日目也。

十二月六日 辛未 火曜 晴。有客。

朝五時起。課行如例。午下、宮城藤袴内侍様ヲ訪フ。少々風氣ニテ御引中故、閑談。三時過退出ス。帰途、訪中村元嘉氏ヲ訪。有栖川宮殿下より画御依頼書至。九条家より書至、

九日御招之处、御主人発熱ニ付、延引申来ル。

(来客) 伊集院幸子。

伊集院より鶏卵一箱。藤袴様より繻珍肩入、書簡笺一箱、惣袋。

\*訪(ママ) \*書簡笺(書簡箋)

十二月七日 壬申 水曜 晴、風。有客。

朝六時起。課行如例。午下、戸田家及岩倉家之行、教授して、帰途、山田氏ヲ訪テ帰。有

栖川宮え返書出ス。木津跡見法城着之書至。

(来客) 山本鶴子、遠藤重平来。

山本鶴子より菓子一箱。遠藤重平より鶏卵一箱。

十二月八日 癸酉 木曜 朝、日色紅、曇、夕ヨリ雨。有客。

朝五時起。課行如例。入門、高橋立通学。

(来客) 重威、遠藤重平、葛西十郎来。

葛西氏より絹半カチ二箇。

\*半カチ(ハンカチ)

十二月九日 甲戌 金曜 晴。有客。九条家、九日午後四時、参殿之事。

朝五時起。課行如例。此夜、東吉来、**浄留理**喜内住家段、熊谷陣屋段ヲ演シテ、九時過去。  
(来客) 重威、東吉来。  
\*浄留理(浄瑠璃)

十二月十日 乙亥 土曜 晴。朝、初雪降。輕微也。已而晴。有客。  
朝五時起。課業如例。愛治郎、濃州遠藤氏ヨリノ依頼ニヨリニ番汽車ニテ岡崎迄出張ス。  
森永時江帰校ス。鉄千代一宿ス。

(来客) 重威、**松の鉄千代**来。  
森永辰江より菓子一箱、生鮭。松野氏ヨリ**更科そは**。安田氏より煮豆一重。  
\*松の鉄千代(松野鉄千代) \*更科そは(更科蕎麦)

十二月十一日 丙子 日曜 晴。有客。  
朝六時起。課業如例。有栖川宮御屏風揮毫ニカゝル。午下、鉄千代帰去。  
(来客) 近万来。

近万より**撫千枚漬**一桶、田村増子より紋一楽織へ〇〇一反。  
巖上亀

さゝれ石の巖となりて万代の亀の住へき宿そ久しき  
君か代の長きためしを見よとてか巖の上に遊ぶ亀かも  
動きなき巖の上に宿しめて心ゆたかに遊ぶ亀かな

\*撫千枚漬(蕪千枚漬)

十二月十二日 丁丑 月曜 晴。堅氷、霜如雪。  
朝六時起。課行如例。此日より試筆稽古ニカゝル。

十二月十三日 戊寅 火曜 晴。氷厚、霜如雪。来客。

朝六時起。課行如例。午下、閑院宮邸ニ教授して去。姉邸ヲ訪テ帰。  
(来客) 山崎忠門、池田幸母。

大塚陽母より、みかん一箱、**せんへい**一袋。山崎忠門より**ヂャボン**三ツ、菓子。池田孝より鶏卵一箱。

\*せんへい(煎餅) \*ヂャボン(ザボン)

十二月十四日 己卯 水曜 晴。有客。  
朝六時起。課行如例。午下、戸田家及岩倉家ニ教授して、山田氏ヲ訪フ。夜六時過帰。  
(来客) 永井直涼使来。

十二月十五日 庚辰 木曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。午下、絹本一枚落製ス。

(来客) 重威来。

受方摘要 三条資君様より二円預ル。  
丸山昌子より、山芋一箱。

十二月十六日 辛巳 金曜 晴曇、夜、雨交雪。

朝六時起。課行如例。午下、千久、桃子、大谷恵子君ヲ新橋迄迎ニ行。余、晚ニ山田氏エ行テ、八時帰。愛治郎、十一時前、**名古屋**より帰着ス。此日、米国**チカゴ**博覧会出品金地十二枚折腰屏風極彩色四季艸花之図、農商務省日本婦人会エ差出ス。

受方摘要 撫子内侍より三円。

南条氏より鶏卵一箱。高梨氏より鴨一番。

\*名古屋(名古屋) \*チカゴ(シカゴ)

十二月十七日 壬午 土曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。

(来客) 重威来。

受方摘要 閑院宮より三十円。藪兼子より三円。

渡辺玉子より鮭二尾、するめ二連。閑院宮より御召縮緬<sup>〇</sup>一反。近藤真鋤より菓子一折。

十二月十八日 癸未 日曜 晴。

朝六時起。課行如例。午下、訪玉枝宅而、又九条邸ニ、若御所近日結婚之祝物ヲ呈ス。去テ、又浅草観世音ニ参詣ス。帰途、別院ニ詣シ、恵子様ニ面晤シテ、此度、御興入之御祝詞申上ル。御荷物等拝見ス。実結構なる御拵也。晡時、去。九条家エ、松魚一折、御召縮緬一反。恵子様エ、松魚一折、白縮緬一反。

受方摘要 牛込幸子より、三円。照子、梶子、駒子より、四円五十銭。西村喜三郎、二円。山県有朋より、御茶一罐、縮緬帛紗。

十二月十九日 甲申 月曜 晴陰。有客。

朝六時起。課行如例。午下、大谷恵子君、菅女、御礼御暇乞ニ成らせられ候。

(来客) 井上松、伊藤子之松。

受方摘要 園祥子より三円。広田千代、三円。安田輝子、十円。大谷恵子より十二円五十銭。

大谷恵子君より鶏卵一箱。谷菅子より黒帯地<sup>〇</sup>。児島愛子より鴨一番。山登光より鱒二尾。広田千代より、みかん一箱。

一月ヨリ八月迄、四十二反、帯二筋。八月ヨリ、反物十二反、帯一筋。

十二月二十日 乙酉 火曜 晴。三十度。

朝六時起。課行如例。午下、詣閑院宮、教授シテ、峰氏ヲ訪テ帰。

受方摘要 毛利氏より五円。

原氏ヨリ、鶏卵一箱、御召〇〇一反、[幽染縮緬](#)〇〇一反。岩浪氏ヨリ鶏卵一箱。福原梅子より鶏卵一箱。

\*[幽染縮緬](#)（友禪縮緬）

十二月廿一日 丙戌 水曜 有客。晴。

朝六時起。課行如例。午下早々、会九条家。此日、同道実公、恵子君と結婚式ヲ挙ラル。

二時より御式、総テ古礼を用ヒラル。四時全畢テ、夕景より祝宴、実ニ盛事、又美事也。余、御床ノ杯を見て帰ル。九時前也。

（来客）山田松五郎氏、目黒徳松氏来。

受方摘要 九条家より五百足。

目黒氏より八丈〇〇一反

十二月二十二日 丁亥 木曜 晴。此日、三条家宴会午後四時より、皇太子御違例ニ付、延引。

朝六時起。課行如例。午下、戸田氏え行、教授して、北白川宮邸え、熊本御出張ニ付、御暇乞に参殿ス。暫時ニして去而岩倉邸ニ行、教授シテ去テ、御宝前ニ参詣ス。御法座聴聞シテ帰。夜六時也。

受方摘要 岩倉家より十八円。中山正子、五円。

弘方摘要 永井直涼氏え廿円返納。小笠原忠忱え廿円返納。宝前、十円。

岩倉家より紋壁〇〇一反。山口菊より[カン瓢](#)、雉子一羽。岩崎久弥より雁二羽。伊藤子之松、漬菜一樽。朽木鋪子、鶏卵一箱。冠幸子、菓子一箱。

\*[カン瓢](#)（干瓢）

十二月廿三日 戊子 金曜 晴。

朝六時起。課行如例。

受方摘要 伊吹竜江、二円。前田亀子、千足。諸葛増子、一円。屏風潤筆、百円。斎藤千賀、二円。戸田家、六円。

斎藤千賀子、鶏卵一箱。中島千重、鶏卵一箱。伊吹竜江、蒸菓子一箱。戸田家、御召〇〇一反。鳥居礫子、菓子一箱。

十二月廿四日 己丑 土曜 晴。

朝六時起。課行如例。以此日、教授納ヲナス。塾生大既帰省ス。

受方摘要 毛利式子、千足。

園頼子より鶏卵一箱。吉見棋子より鶏卵一箱。川勝品より鴨一籠。角田氏より、みかん一箱。今井請人より絹糸一包。五十嵐より砂糖一箱。伊藤哥子、大白豆。築井氏より、イカノ塩から。

\*大既(概)

十二月廿五日 庚寅 日曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。終日、屏風揮毫ス。此日、奥す、弘ヲ執行ス。石神井高橋来、弘児麻疹発ス。

(来客) 玉枝、原富太郎来。

受方摘要 若松典侍より一円。糸桜内侍より一円。中山良子より五円。板倉閑子より一円。松平岳子より三円。

三浦常子より鶏卵一箱。松平岳子より鶏卵一箱。玉枝より菓子一箱、かたかけ、写真挟。

島田三郎より鴨一番。

\*奥す、弘(奥煤弘)

十二月廿六日 辛卯 月曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。有栖川宮ヨリ御依頼之御屏風落製ス。午下、小松宮邸ニ詣ス。両殿下ニ拝謁ス。又若宮兩殿下ニ謁ス。暫時閑談して岩倉邸ニ行。梭子殿不在ニ付、去而松野氏ヲ訪テ、三条邸ニ詣ス。此時、閑院宮御息所御入ニテ、御客間ニテ御酒肴戴。晡時帰宅ス。池田孝子養子ト結婚ニ付、松魚一箱、御召縮緬一反ニ祝ス。

(来客) 山口梅、中村元嘉妻君来。

受方摘要 樹下定江、三円。平田見枝、三円。生源寺いさを、三円。中村元嘉より二円。

弘方摘要 石井初子え、廿円。

山口梅子より洋菓子一箱。中村氏ヨリ奈良漬一桶。秋元浪子より鯉こく一重、鮎甘露煮一重、みりん一樽。米倉一平より、みかん一箱、半襟一懸。重威より鶏卵一箱。押元鏡子より鶏卵一箱。

\*一反ニ(一反ヲ) \*鯉こく(鯉濃)

十二月廿七日 壬辰 火曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。晡時、姉邸歳暮ニ行。八時帰。

(来客) 松の鉄千代、岩浪稲子、重威来。

受方摘要 三条家より十円。九条家より九円。まち子、いさを、三円。堀田善子、千疋。

松野氏より五円。松平輛子、一円。

松野氏より鶏卵一箱。蒲生氏より鮭一尾。松平輛子より鶏卵一箱。村田とめより煙艸一箱。上田岩太より干菓子一箱。

\*松の鉄千代(松野鉄千代)

十二月廿八日 癸巳 水曜 晴。

朝六時起。課行如例。書齋掃除ス。午下、神田辺え福引景物買求二行、晡時帰。

弘方摘要 小買物、六円。

受方摘要、有尾氏より一円。

佐藤姑より鮭一尾、真綿。石山家より鴨一籠。藤堂家より鴨一籠。北里氏より鶏卵一箱。酒井家より干菓子一箱。

十二月廿九日 甲午 木曜

朝六時起。課行如例。

前田梅子より、みかん一箱。下男米より鶏卵一箱。加茂氏より松魚一箱。小松宮より雁。萩銚子より鶏卵一箱。三村松より松魚一箱。藤袴様より鴨一籠、椿餅二箱。葛岡信子より鶏卵一箱。宗東殿より鶏卵一箱。小松若宮より真綿三卷。

十二月三十日 乙未 金曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。

(来客) 吉村、及重威来。

松前家より松魚一箱。小笠原、鴨。吉村より漬物二箇。深見香鶴、撫子漬一樽。さゝ木豊子、みかん一箱。

\*撫子漬(蕪漬) \*さゝ木豊子(佐々木豊子)

十二月三十一日 丙申 土曜 晴。夜、月尤清。有客。

朝六時起。課行如例。午下四時、御宝前え参詣して帰。先、今年、無事無病氣、一家和氣中、送旧迎新、楽無極。

(来客) 盤井孝母来。

稲垣銚子、松魚一箱。本間長子、砂糖一箱、カステイラ一箱。盤井幸子、みかん一籠。山県松子、角砂糖、塩鮭八本入。北村静、みかん一箱。

\*盤井孝母(磐井孝母) \*盤井幸子(磐井幸子)

十二月会計

弘方摘要 総計 五百九十九円十八銭。

受方摘要 総計 七百四十三円七十五銭。

明治廿五年総計

明治廿五年一ヶ年

受方総ノ五十八反、帯四本

受方摘要

総計 七(百)四(十)三(円)七(十)五(銭)

残高

比較合計 七(百)四(十)三(円)七(十)五(銭)

払方摘要

五(百)九(十)九(円)一(十)八(銭)

一(百)四(十)四(円)五(十)七(銭)

七(百)四(十)三(円)七(十)五(銭)